

第4章 島民・島外利用者アンケート調査結果

(1) 調査概要

本航路の利用実態や利用者視点からみた満足度や改善ニーズなどを把握するため、次のとおり2種類のアンケート調査を実施した。

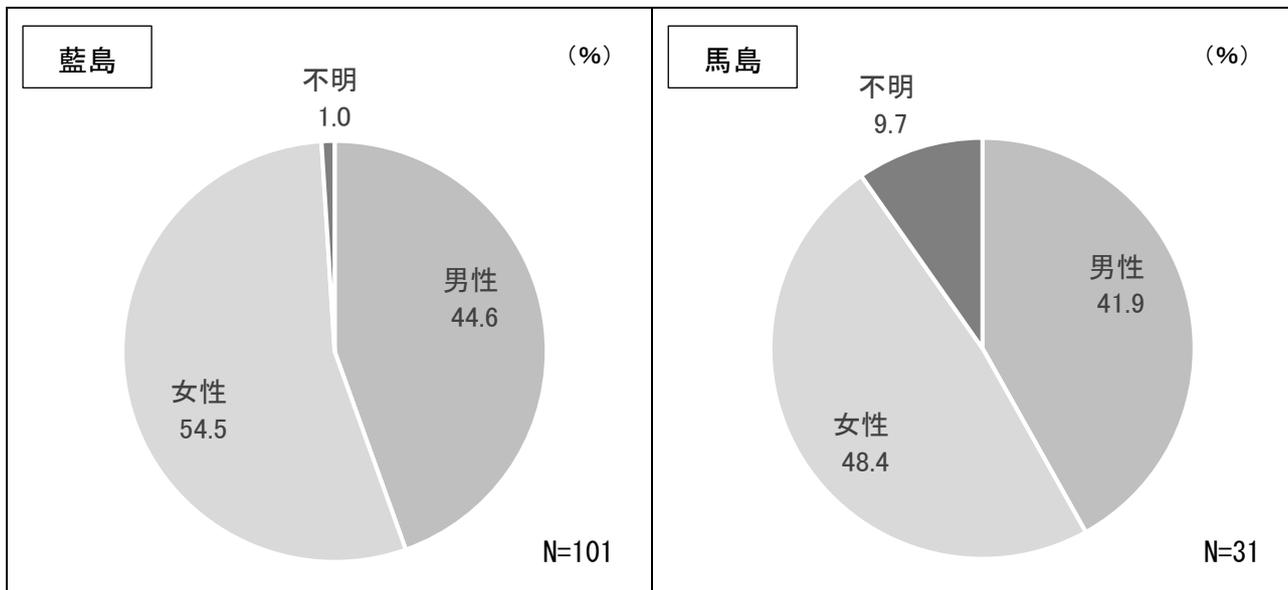
	島民アンケート調査	島外利用者アンケート調査
調査日	平成29年8月	平成29年 8月9日(水)・19日(土)・20日(日)
調査対象	藍島、馬島の全世帯(15歳以上) ※各世帯3通配布	小倉航路の島外利用者
調査方法	配布:郵便による全戸配布 回収:調査員による個別訪問回収 (2日間訪問回収) ※未回収については回収箱にて回収	調査員による配布・回収
回収数	<藍島>101票 (回収率 45.5%) <馬島> 31票 (回収率 88.6%) ※回収率は平成28年9月末現在の人口 (藍島222人、馬島35人)より算定	102票
質問項目	問1～問3 属性 問4 小倉航路の利用頻度 問5 主に利用する便 問6 利用目的 問7 小倉到着後の主な移動手段 問8 小倉航路以外での 小倉への移動頻度 問9 小倉航路の満足度 問10 島内活性化に対する考え方 (自由意見)	問1 属性 問2 目的地の島 問3 来訪のきっかけとなった情報 問4 主な目的 問5 小倉航路の利用頻度 問6 利用する便 問7 小倉航路の満足度 問8 島に必要なもの

(2)調査結果

①島民アンケート調査

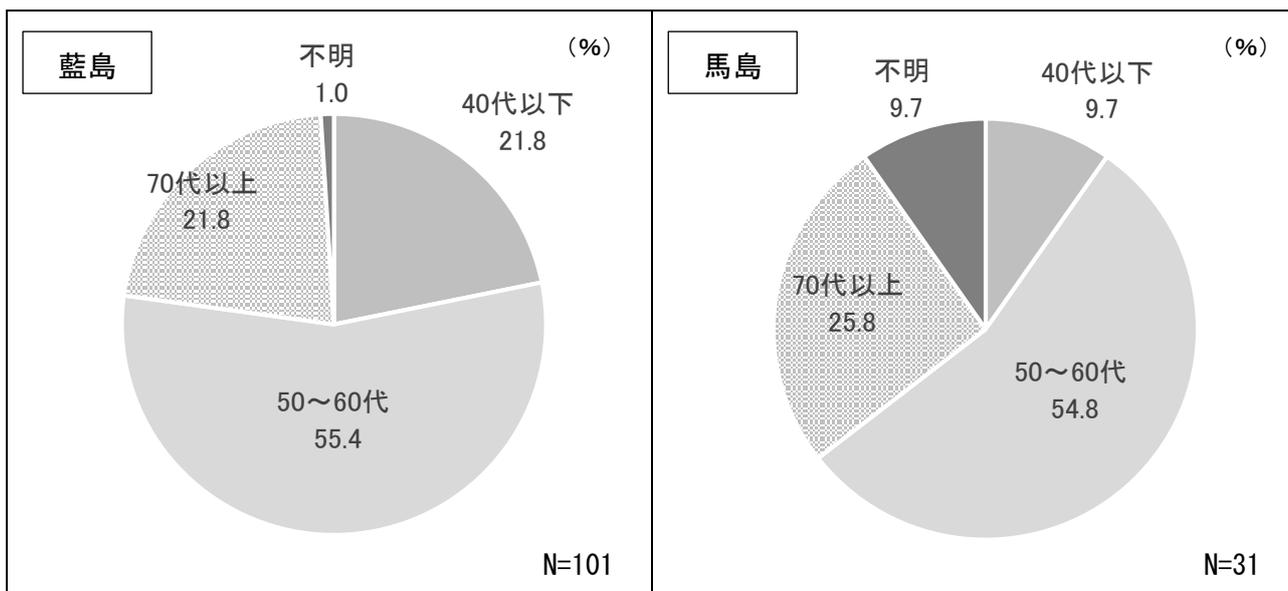
問1 あなたの性別をお答えください(1つに○)

性別は藍島、馬島とも女性の割合がやや高くなっている。



問2 あなたの年齢をお答えください(1つに○)

年代は藍島、馬島とも 50～60 代の割合が最も多く、70 代以上を含めると 80%程度になる。

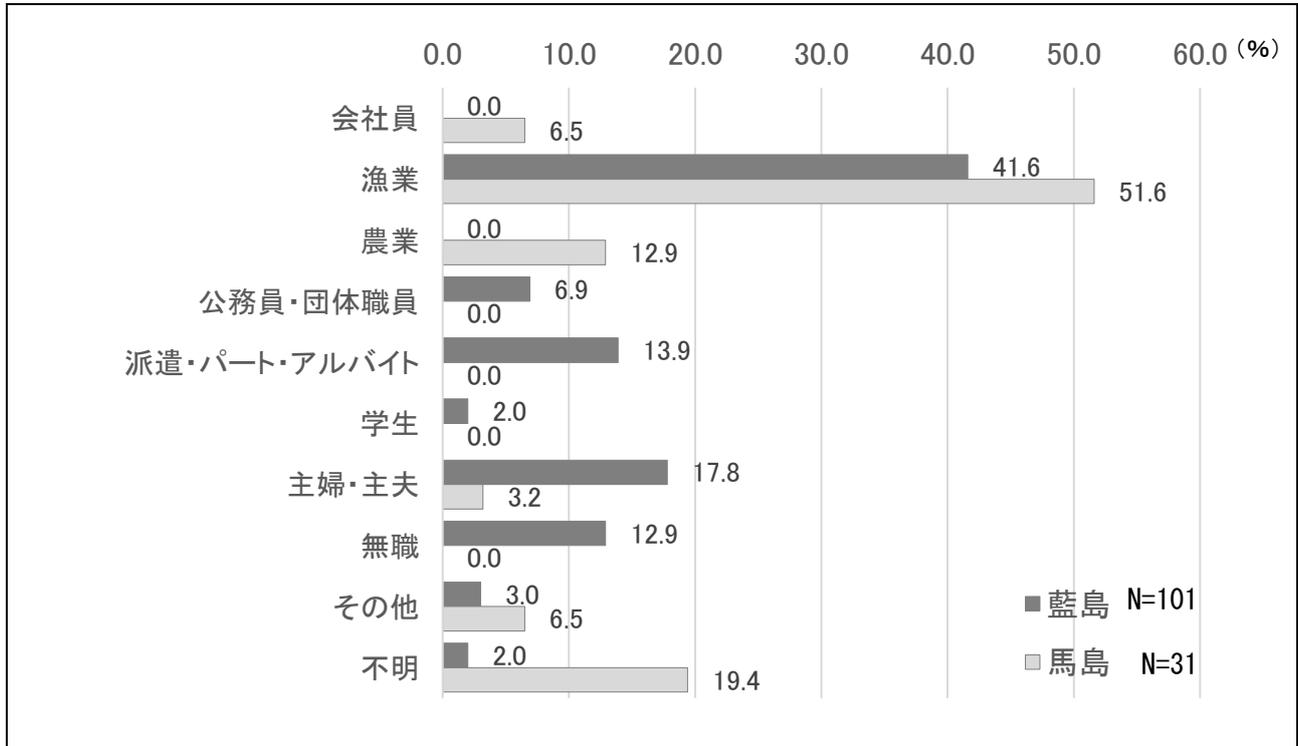


年代別回収率(回収数/人口(H28.9末現在))

	40代以下	50～60代	70代以上
藍島	41%(22票/54人)	58%(56票/97人)	31%(22票/71人)
馬島	75%(3票/4人)	85%(17票/20人)	73%(8票/11人)

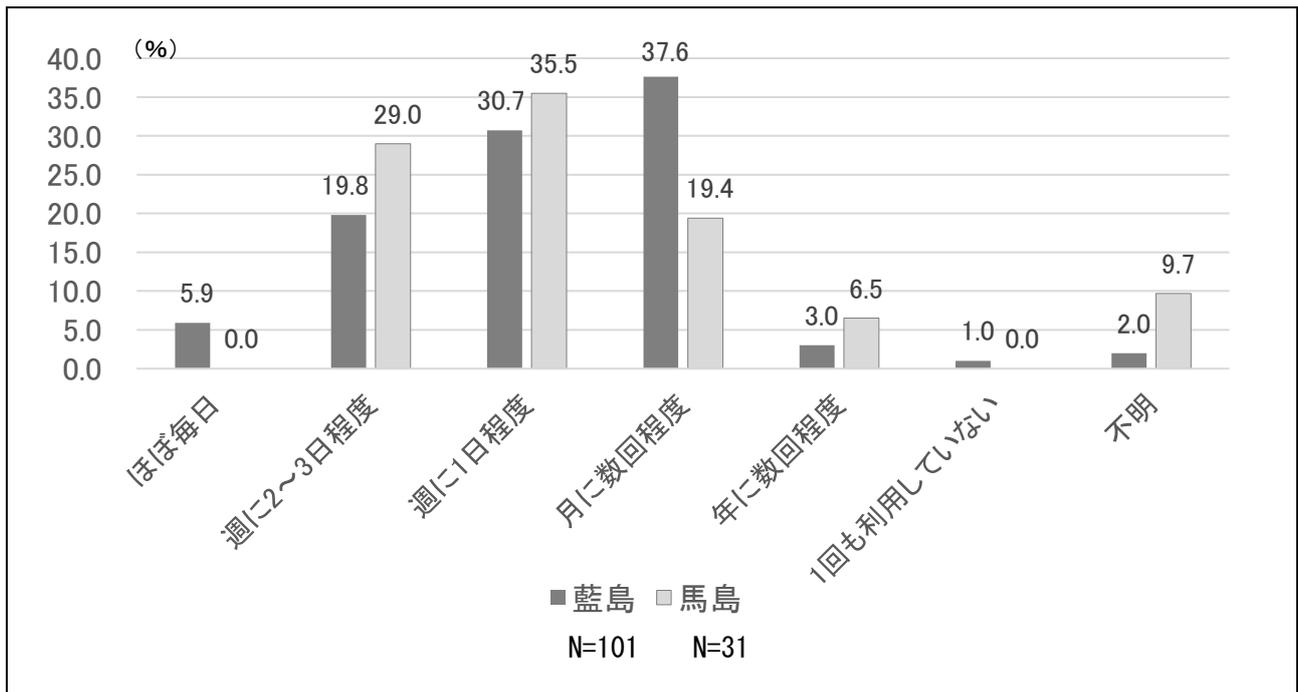
問3 あなたのご職業又は現在の状態をお答えください（主なもの1つに○）

職業は藍島、馬島とも「漁業」が最も多い。「無職」は藍島で12.9%、馬島では0%と、現役の方が多い状況が確認された。



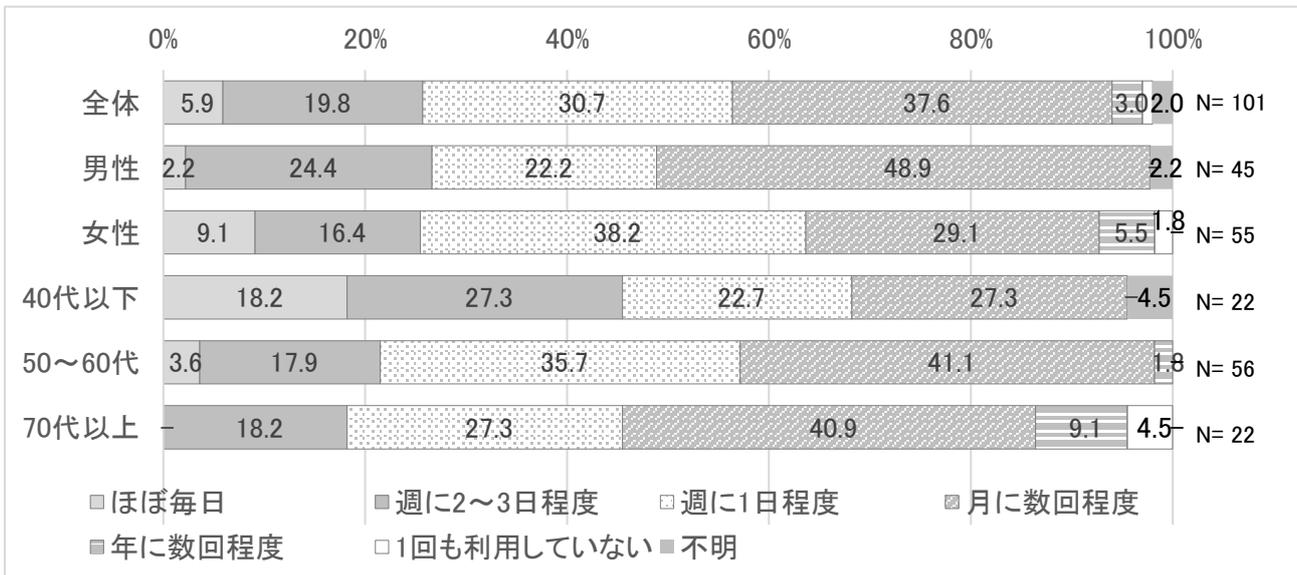
問4 この1年間、小倉航路を利用して本土へはどの程度行かれましたか。（1つに○）

小倉航路の利用頻度は、藍島では「月数回程度」、馬島では「週1日程度」が最も多い。年代別でみると、高年代ほど利用頻度が低くなる傾向がみられる。

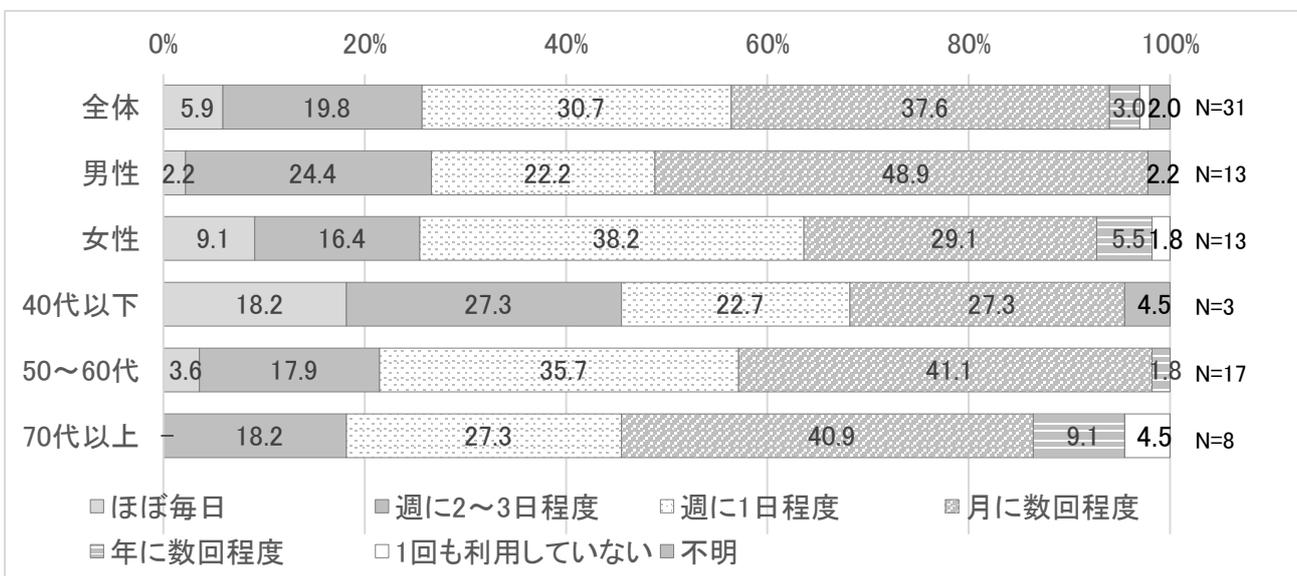


(性別・年齢別クロス集計)

<藍島>



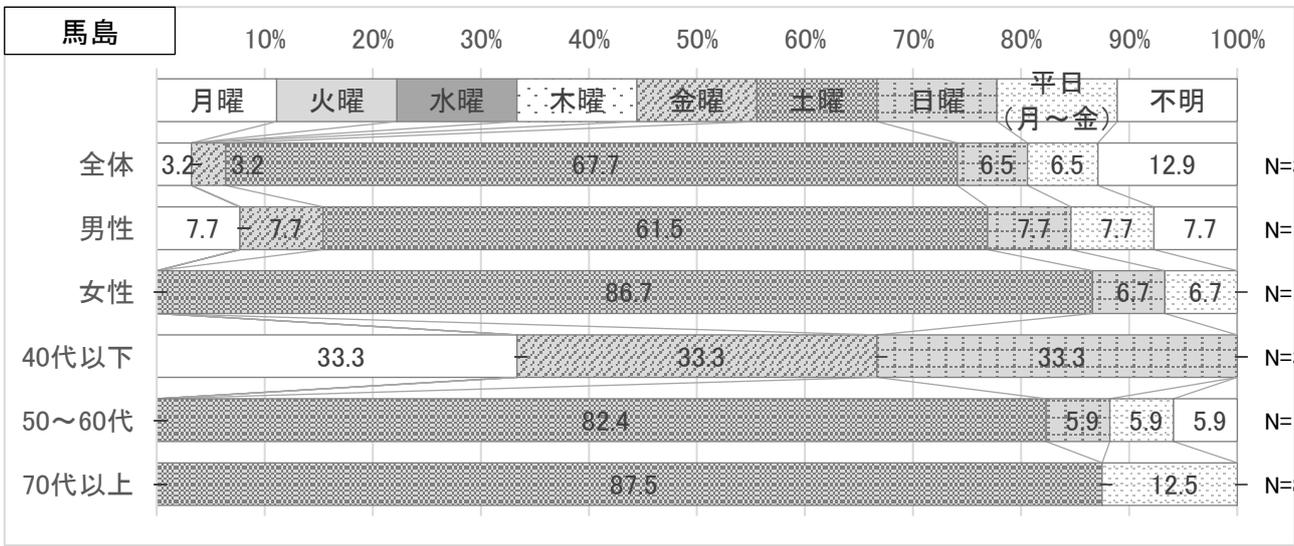
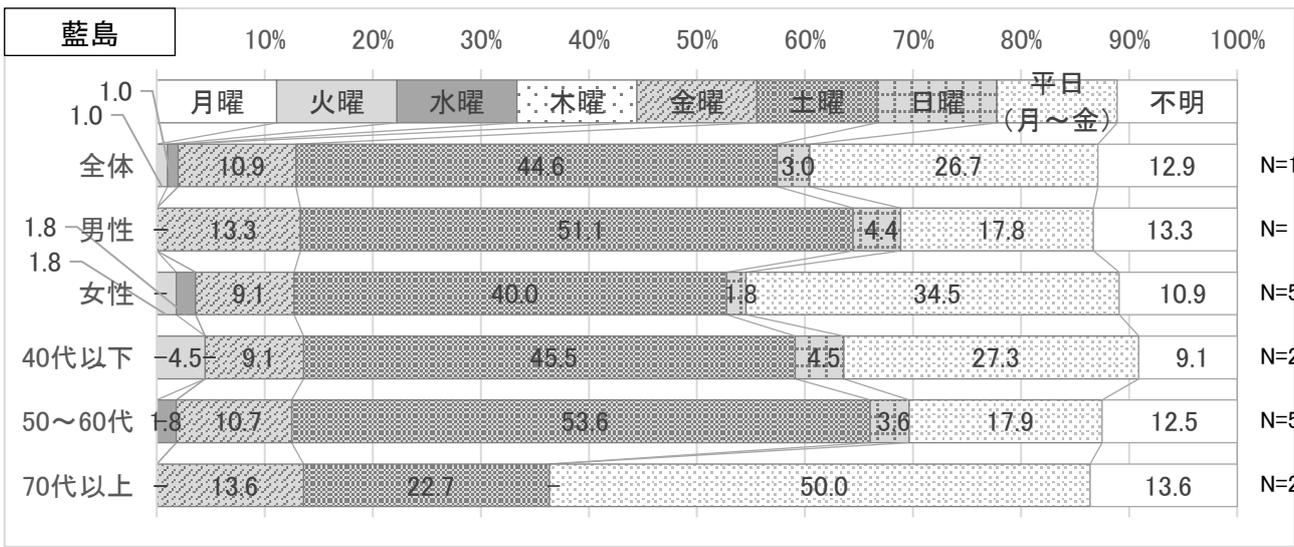
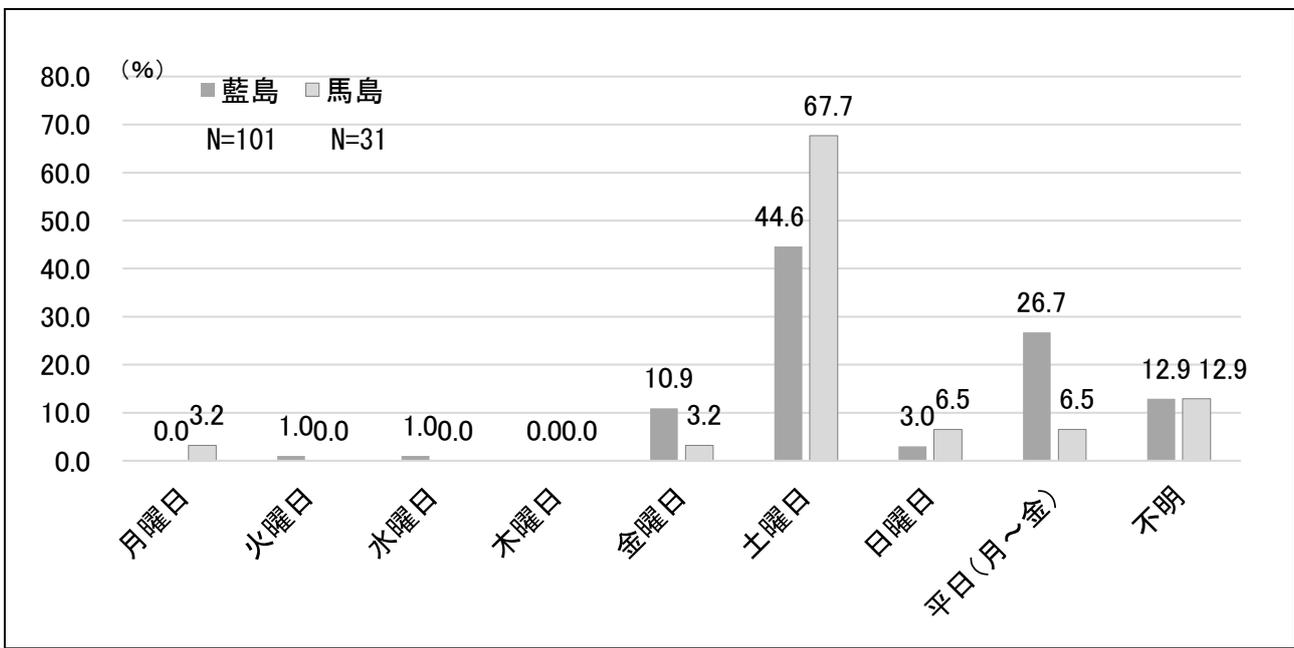
<馬島>



問5 主に利用される便はどの便ですか。

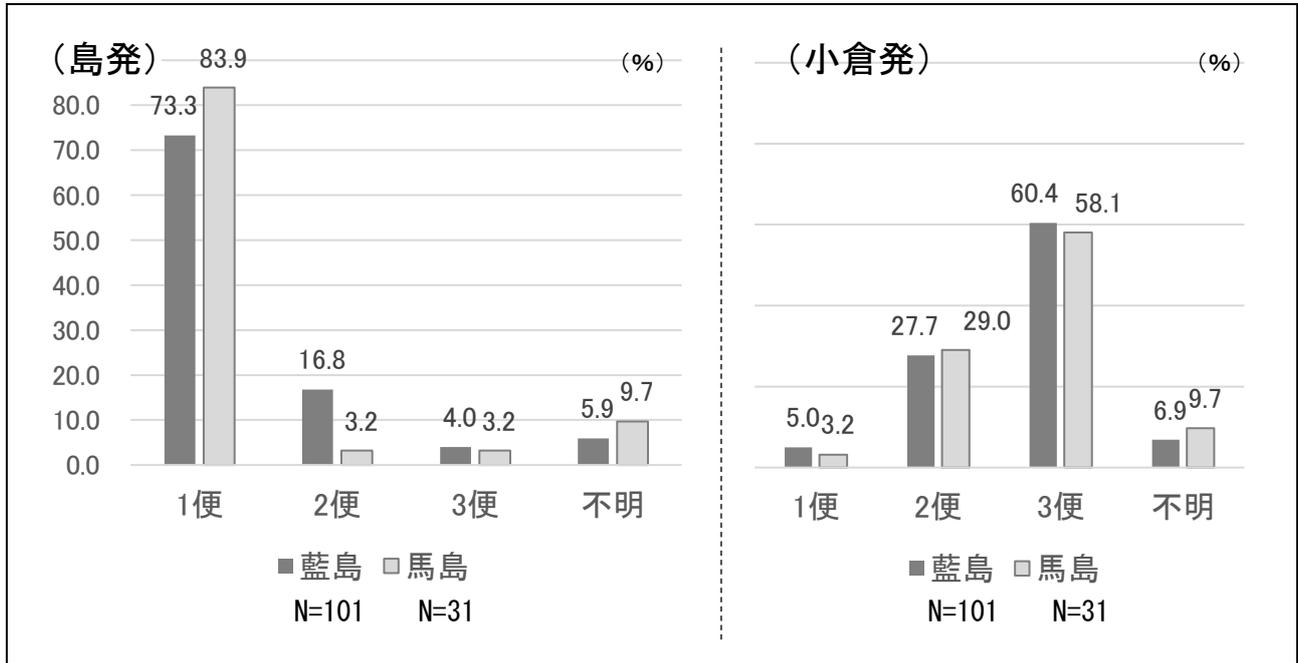
【利用する曜日】（1つに○）

定期船を利用する主な曜日は藍島、馬島とも土曜日が最も多い。

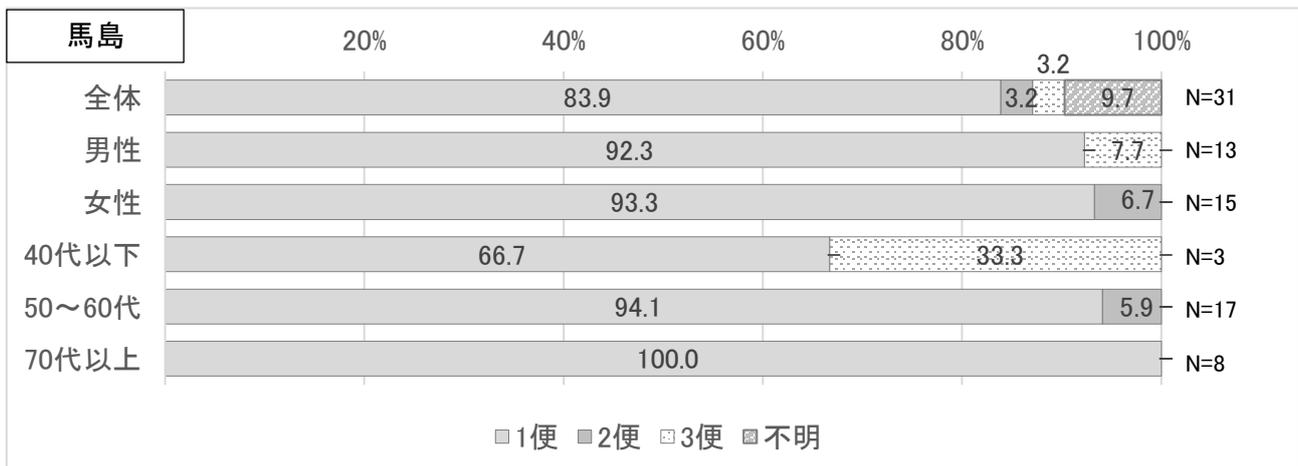
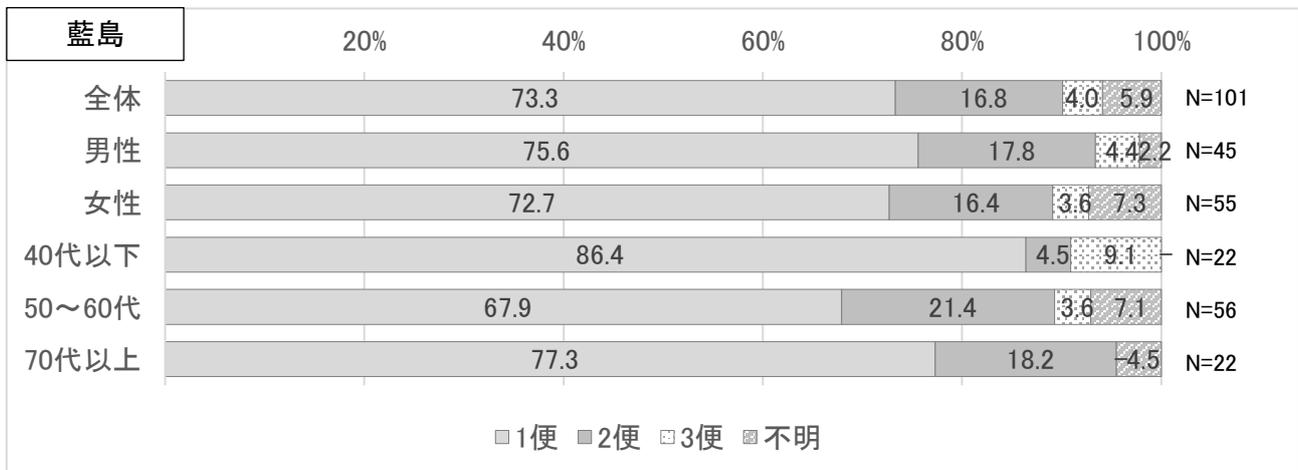


【主に利用する便】（1つに〇）

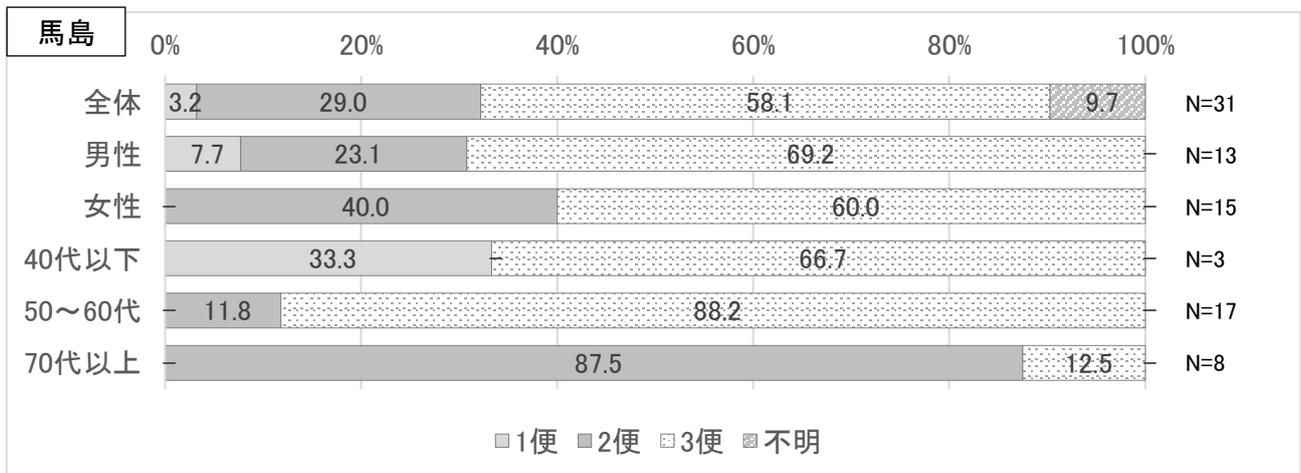
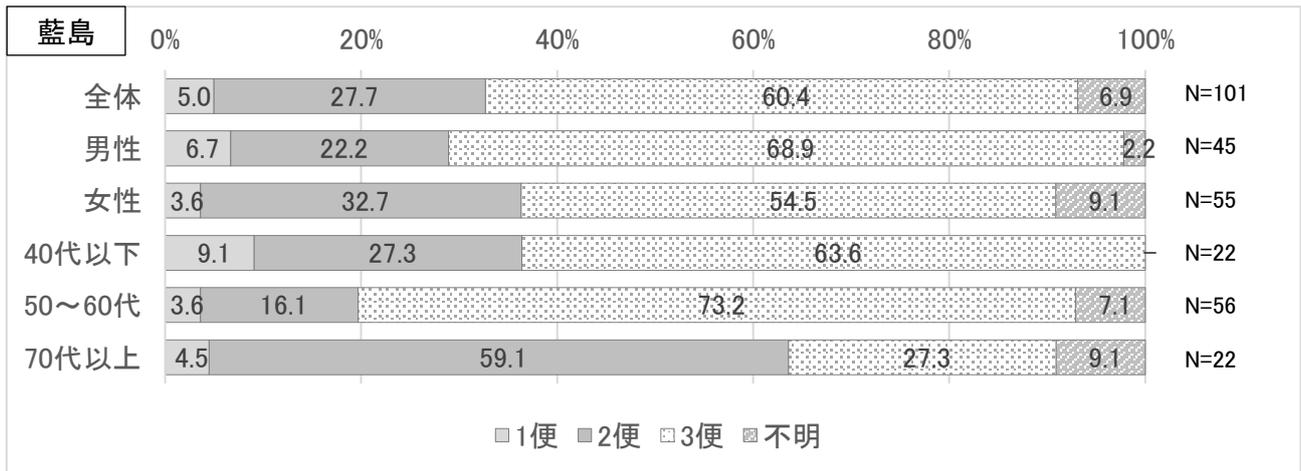
利用する便は、島発は1便に集中している。小倉発は3便が6割前後で最も多いが、2便も3割程度と往路に比べ分散する傾向がみられる。



(島発)

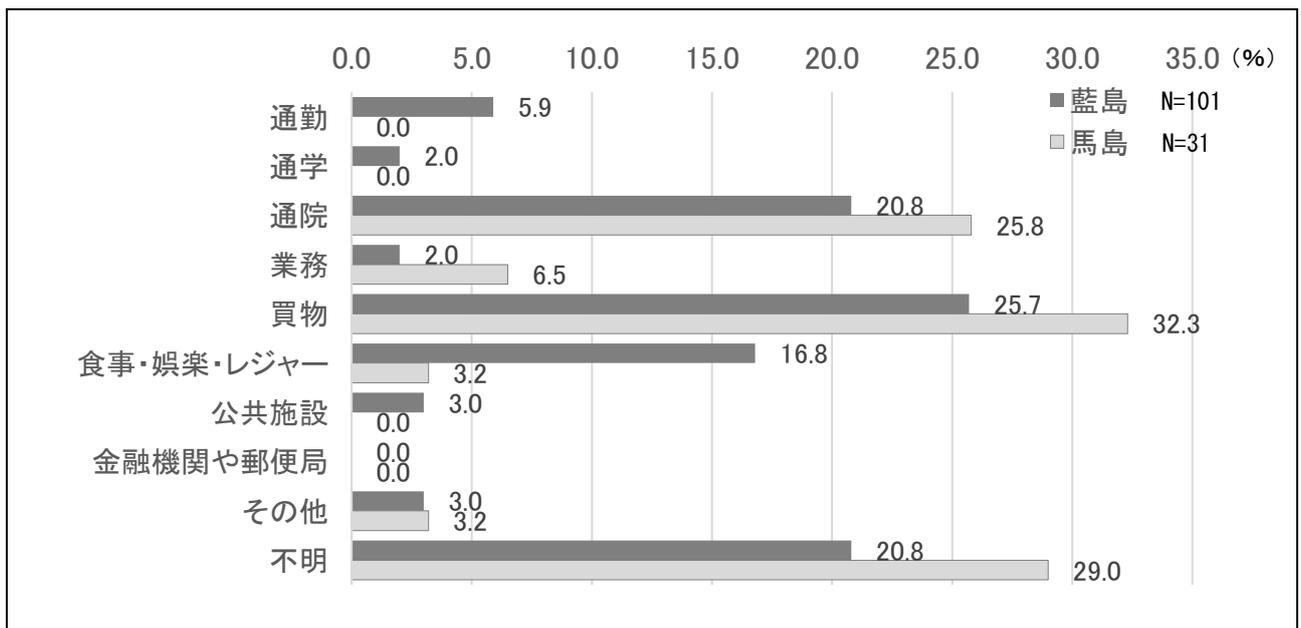


(小倉発)

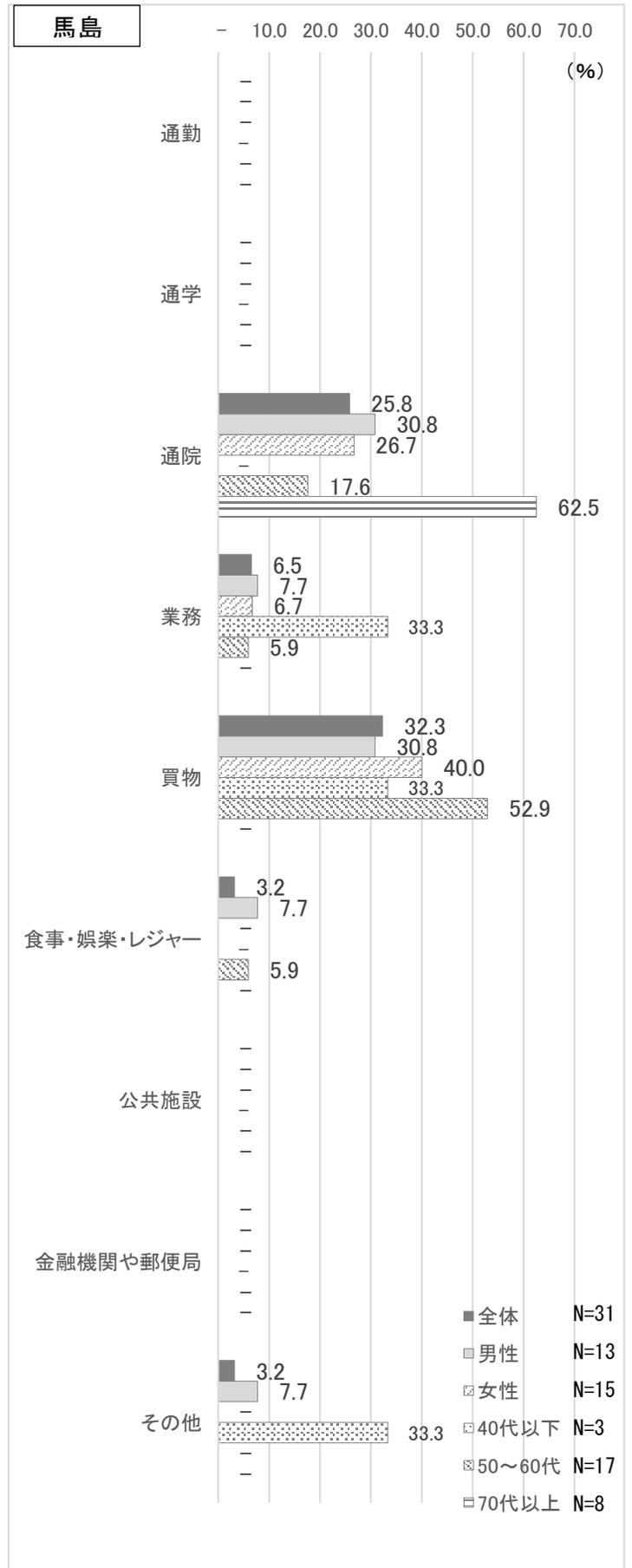
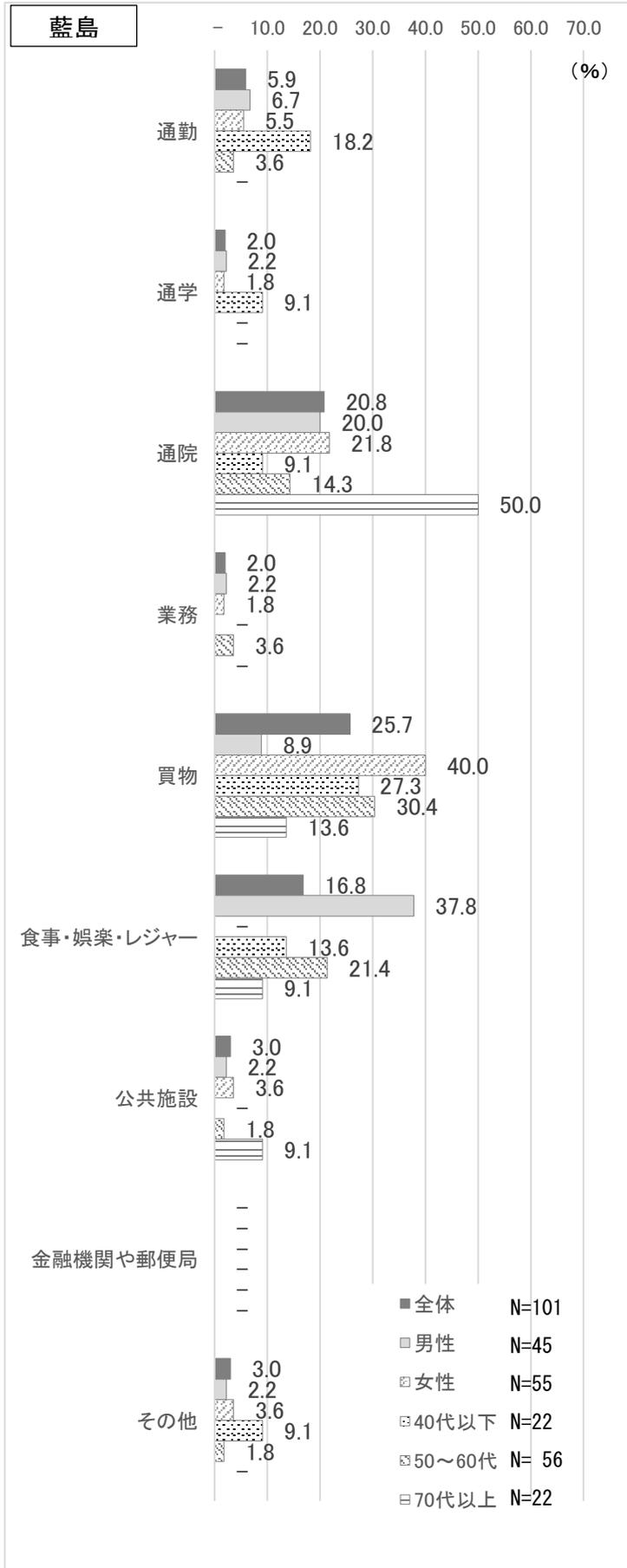


問6 小倉航路の利用目的として特に多いものをお尋ねします。(1つに○)

利用目的は、藍島、馬島とも「買い物」、「通院」が多く、藍島では「食事・娯楽・レジャー」も多い。年代別で見ると70代以上は「通院」が5割以上と特に多い。



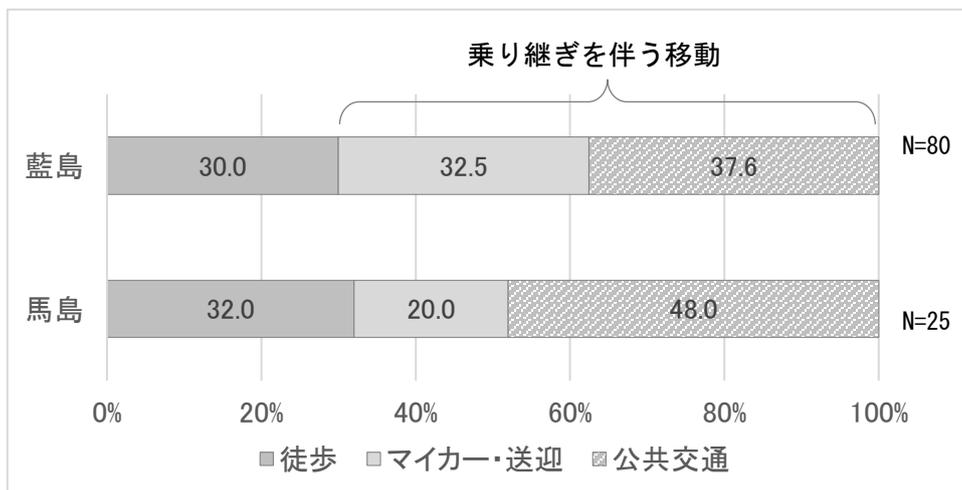
(その他) 実家への帰省、子どもの習い事など



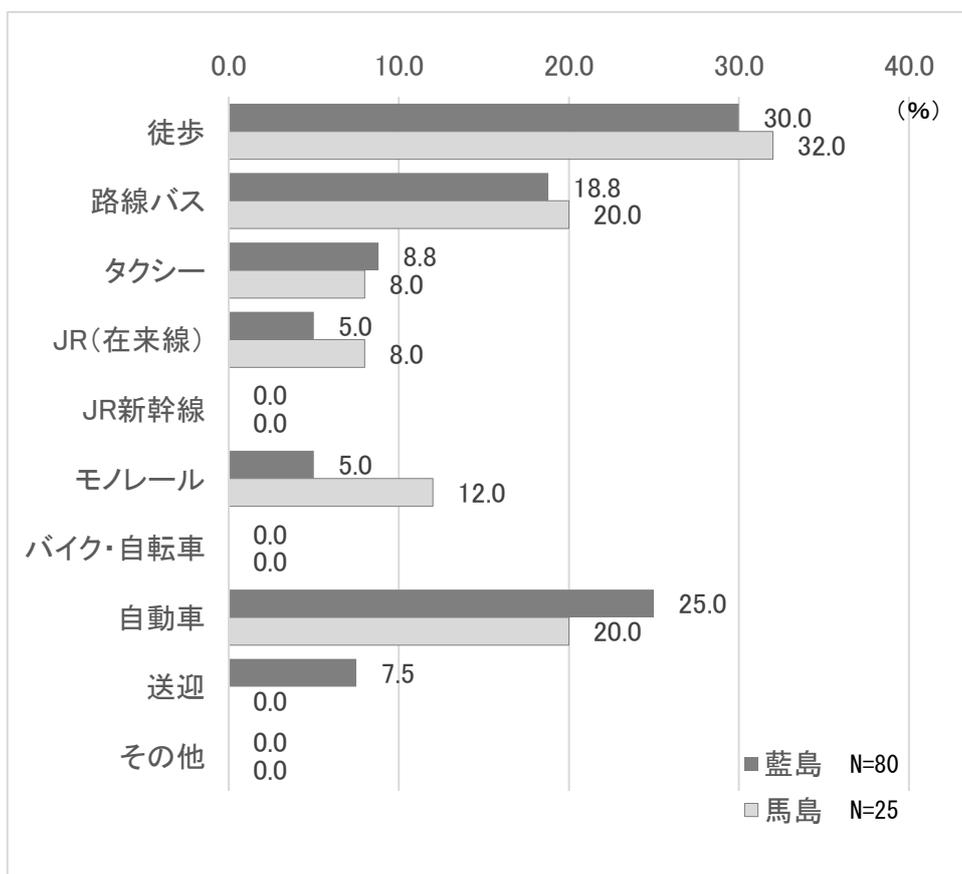
問7 小倉到着後、目的地までの主な移動手段をお尋ねします。(1つに○)

目的地までの移動手段は、藍島、馬島とも3割が「徒歩」、7割がマイカー・公共交通手段となっている。言い換えると3割は徒歩圏内の行動、7割は乗り継ぎを伴う行動と推測される。

(目的地までの移動手段)



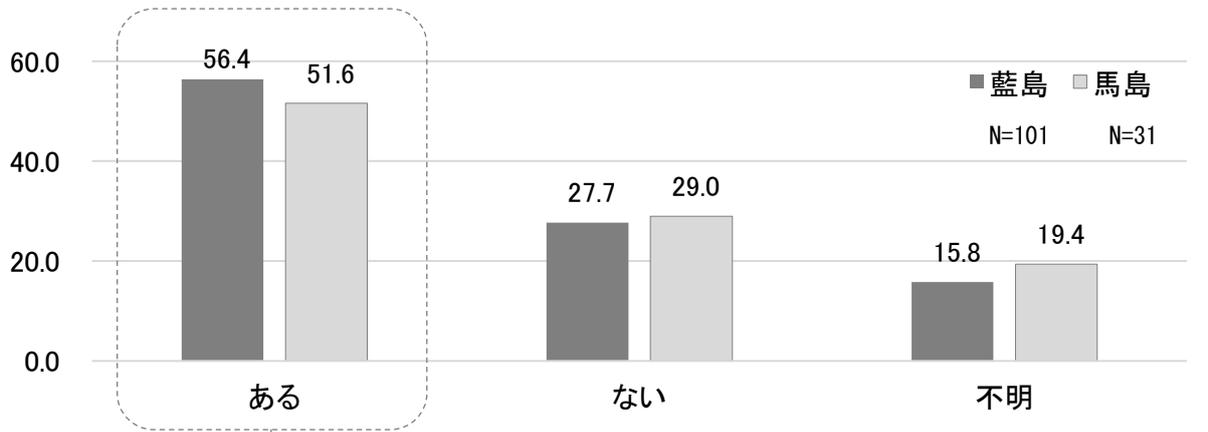
(目的地までの移動手段 ※細分)



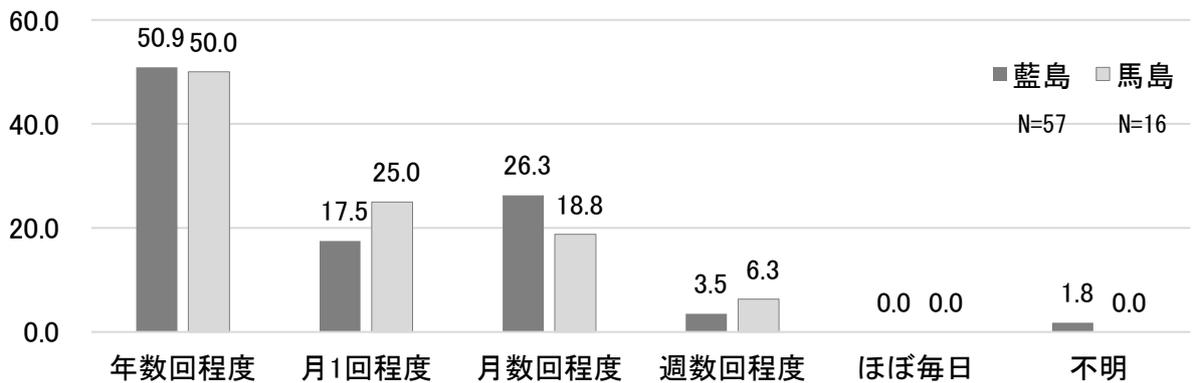
問8 小倉航路以外、「漁船等」で本土に行くことはありますか。(1つに○)

漁船など小倉航路以外で本土へ行く人は全体の約5割と多くなっている。これは漁業に携わる方が自ら漁船を所有する方が多いためと推測される。頻度は半数程度が「年数回程度」と限定的であると考えられるが、月数回程度も20%前後となっている。小倉航路以外を利用する理由は「時間的に待てない」が60%台で最も多い。

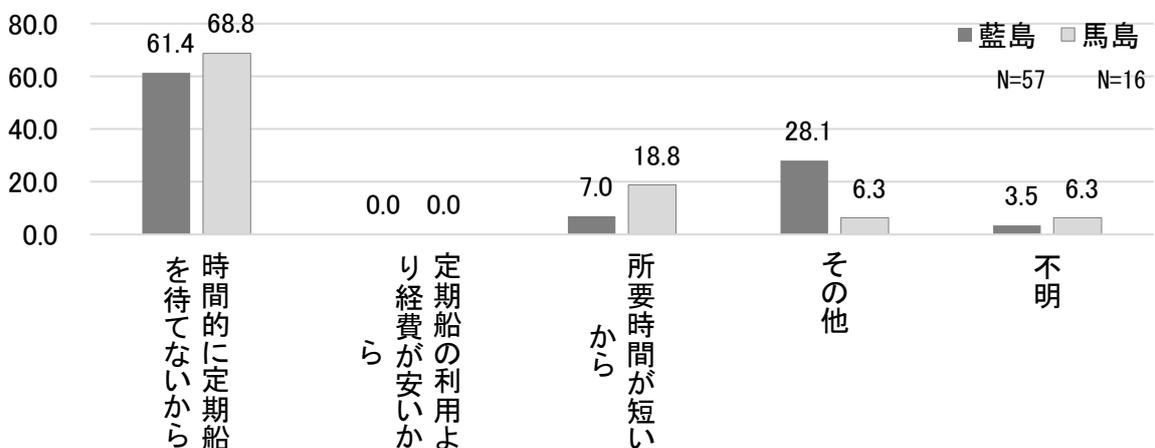
(定期船以外で本土に行くことがあるか)(SA) (%)



(「ある」と回答した人のみ) 定期船以外で本土に行く頻度(SA)



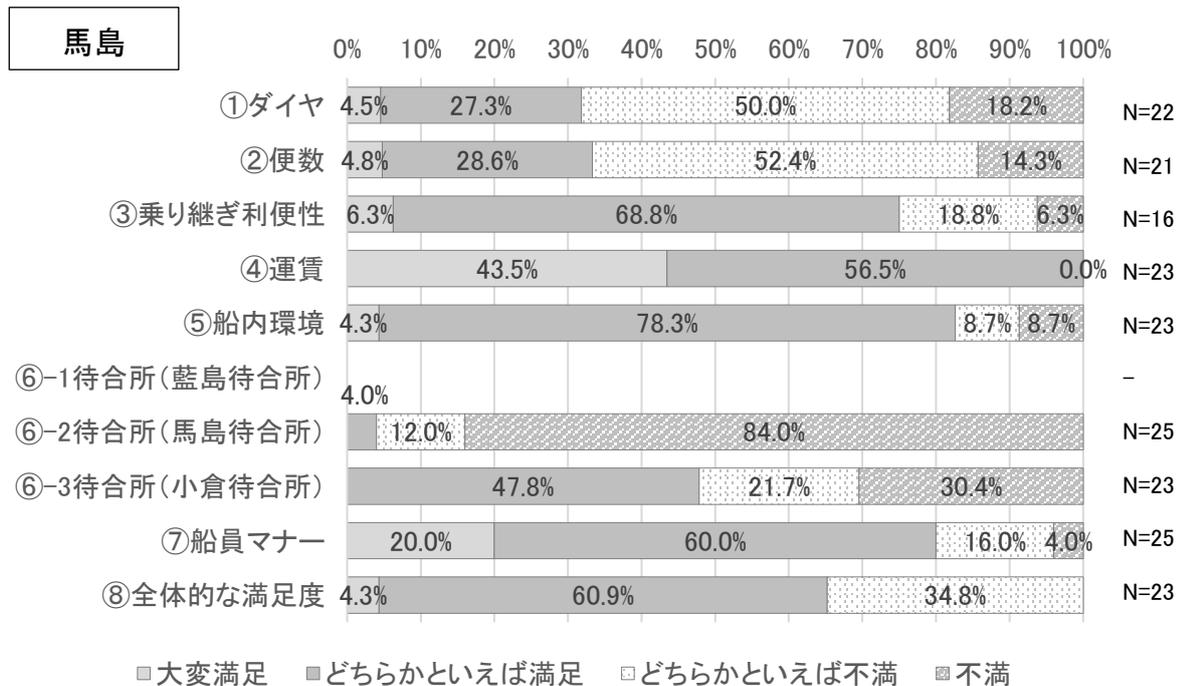
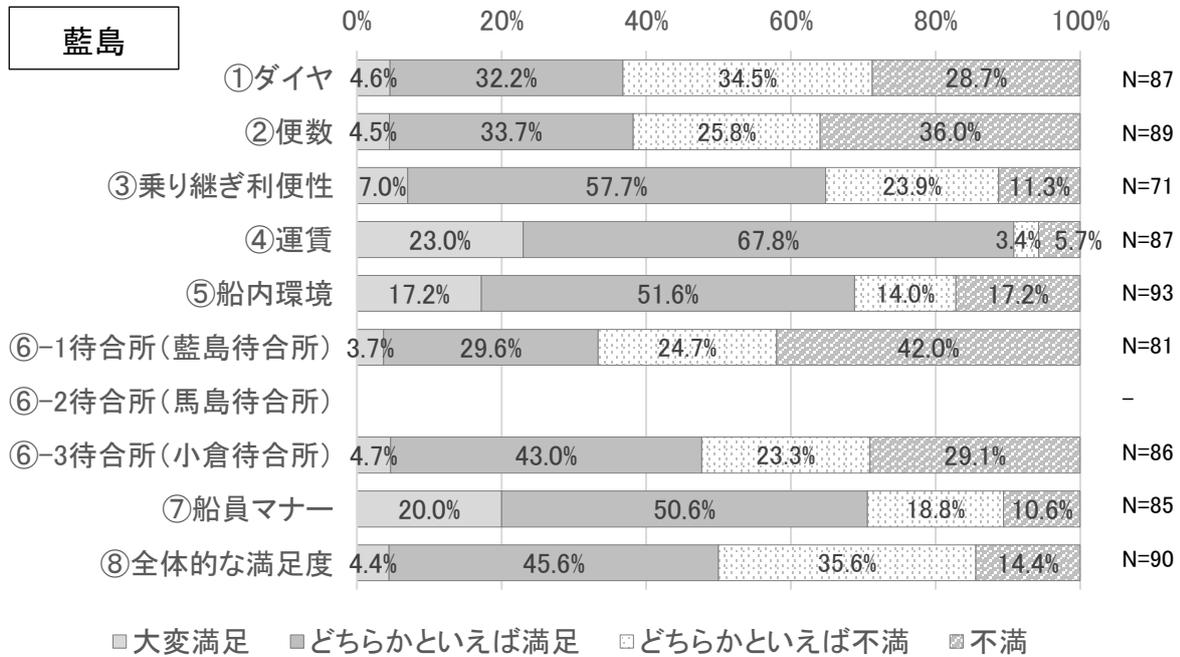
(「ある」と回答した人のみ) 定期船以外を利用する理由(SA)



(その他) 定期船が欠航になった時、定期船に乗り遅れた時、荷物の運搬(大きな荷物の運搬など)など

問9 現在の小倉航路の①～⑧それぞれについて満足度や不満の理由などをお尋ねします。

小倉航路の各分野の満足度を尋ねたところ、藍島、馬島とも「④運賃」に対する評価が最も高く、その他では「③乗り継ぎ利便性」、「⑤船内環境」、「⑦船員マナー」などの評価が高い。一方、不満度が高い項目は「⑥-2 馬島待合所」「⑥-1 藍島待合所」、「①ダイヤ」、「②便数」などであった。



《主な自由意見の内容》 ※不満の理由

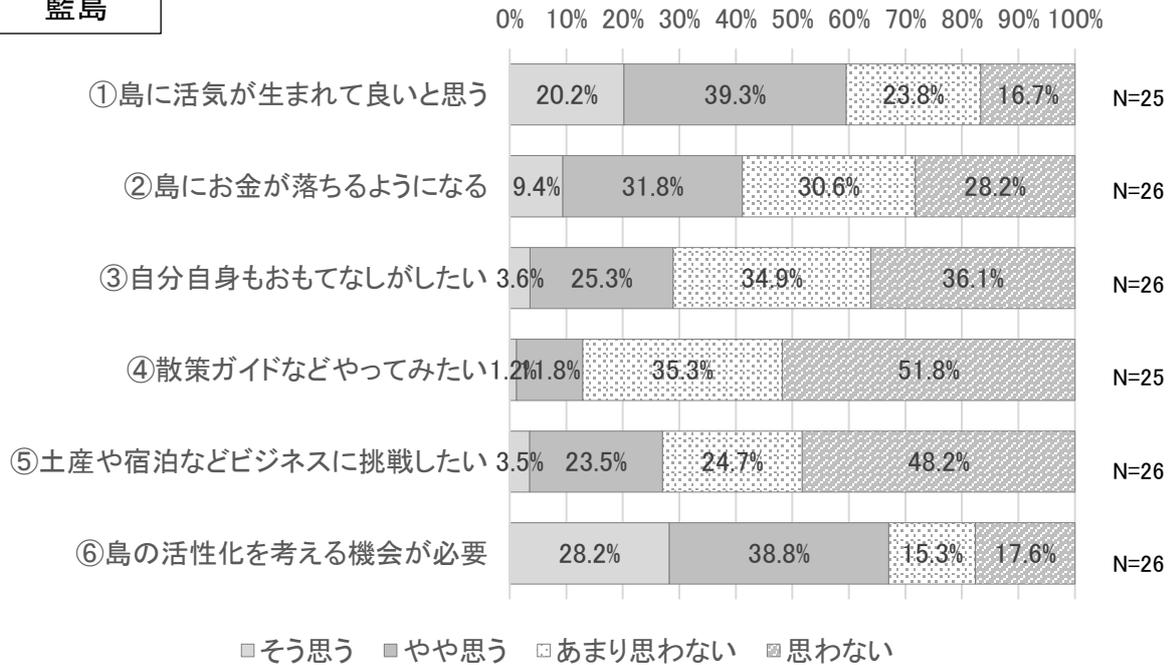
<p>①ダイヤ</p>	<p><朝の便></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院、買い物など、朝一番の便では早すぎて待ち時間が発生する。 ・ 9時台の便が欲しい。 ・ 子供達の通学面、会社の勤務の面で朝の1便が早すぎる。 ・ 夏季のように午前にもう1便あるとありがたい。 <p><夜の便></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の最終便より遅い便が欲しい。 ・ 中学生、高校生などは部活などが17時30分発では間に合わないので、最後の便を20時くらいにして欲しい。 <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平日、土曜、日曜の時間が違って不便なので時間を統一して欲しい。 ・ 観光客に合わせていて、島民のためにはなっていない。 ・ 島の方々が利用しやすい時間にして欲しい。 ・ 土曜の14時発は早すぎる。 ・ 朝の10時30分発は買い物のときは時間がたりず、泊りの時は遅すぎる。 ・ 藍島発9時30分が、土、日曜あれば良い。
<p>②便数</p>	<p><便数の少なさ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 便数が少ない。 もう1便増やして欲しい。 ・ 土、日だけでも四便あると便利。 ・ 午前中に一便増やして欲しい。 <p><曜日・季節></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土、日、祝日は島発13時の便が便利。 ・ 平日・土・日祝日と3パターンあるが、観光客が時間帯を理解してなく乗り遅れていることがある。 ・ 二日おきでも7時～13時30分の間にもう1便欲しい。 ・ 正月の便が少ない
<p>④運賃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島民に対してはもっと安くして、本土からは上げてよい。 ・ 島外で高齢だと往復400円は安すぎる。
<p>⑤船内環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船内トイレが汚い。 ・ 窓ガラスはふいて欲しい。

<p>⑥待合所 (藍島待合所)</p>	<p><トイレ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレが汚い。 ・トイレに電気がついていない。 ・ トイレの手洗い場を直してほしい。 <p><施設内環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚い。 ・猫の出入りが多い。 <p><設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 椅子が汚くて、座れない。 ・ 待合所と呼ぶには、ただ椅子があるだけで、特に何の整備もされていない。 ・ 売店さえなく、老人が船を待つ際、くつろげる環境ではない。 ・ 観光客の方、特に外国からのお客様に分かりやすいようにトイレマナーを掲示して欲しい。
<p>⑥待合所 (馬島待合所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栈橋から遠い。 ・ 古い。狭い。トイレが和式、水道がない。 ・ 雨風がしのげる所が欲しい。
<p>⑥待合所 (小倉待合所)</p>	<p><施設内設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビがない。 ・売店がない。 ・エアコンの効きが悪い。 ・ もっとくつろげる量の部屋があればいい。 ・ 年寄り、具合の悪い人が横になれない。 ・狭い ・古い <p><施設外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場があれば良い。 ・AIM まで屋根付きの通路を作ってほしい。 ・ 入口が階段なので、カートを外に残して中に入ることになる。 <p><施設内環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレが汚い。
<p>⑦船員マナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶がない。 ・ 態度・対応が悪い。 ・ もう少し乗船者の手助けをして欲しい。 ・ 親切さが足りない。

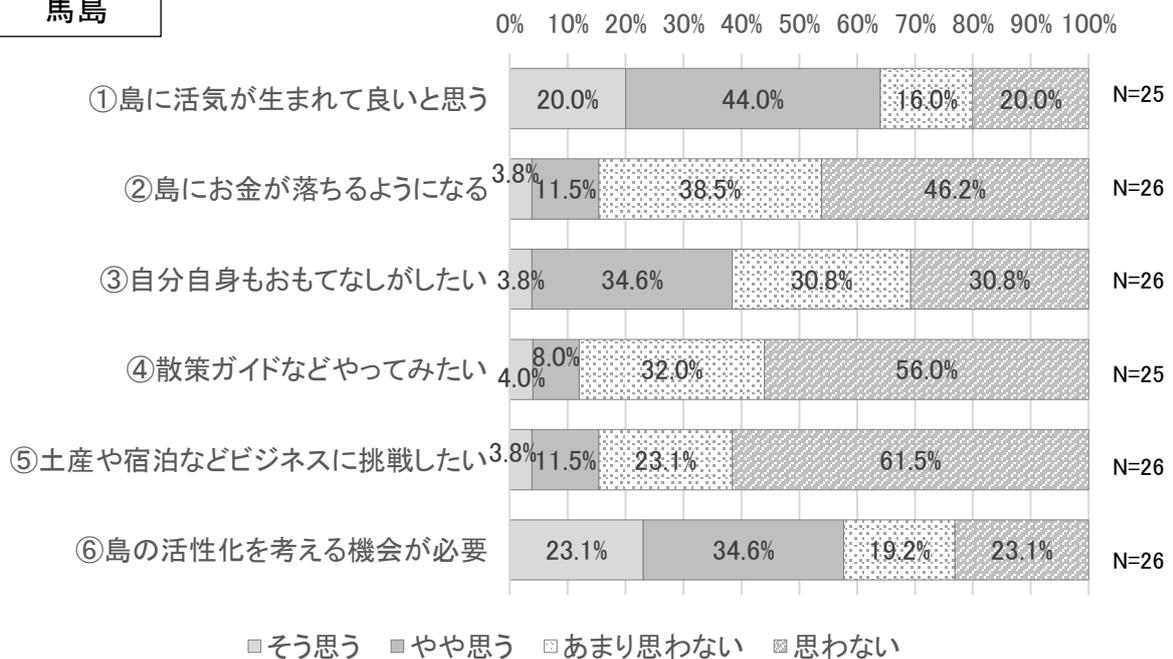
問10 現在、島には猫の見学や釣りなどで多くの観光客が訪れています。今後、観光による島の活性化を進めるにあたり、あなたの考えをお聞かせください。(それぞれ1つに○)

観光による島の活性化についての考えを尋ねたところ、「島に活気が生まれて良いと思う」、「島の活性化を考える機会が必要」は半数以上の島民が認識されているが、自らおもてなしや観光事業に取り組むなど、具体的な行動に移すことには消極的な傾向がみられた。

藍島



馬島

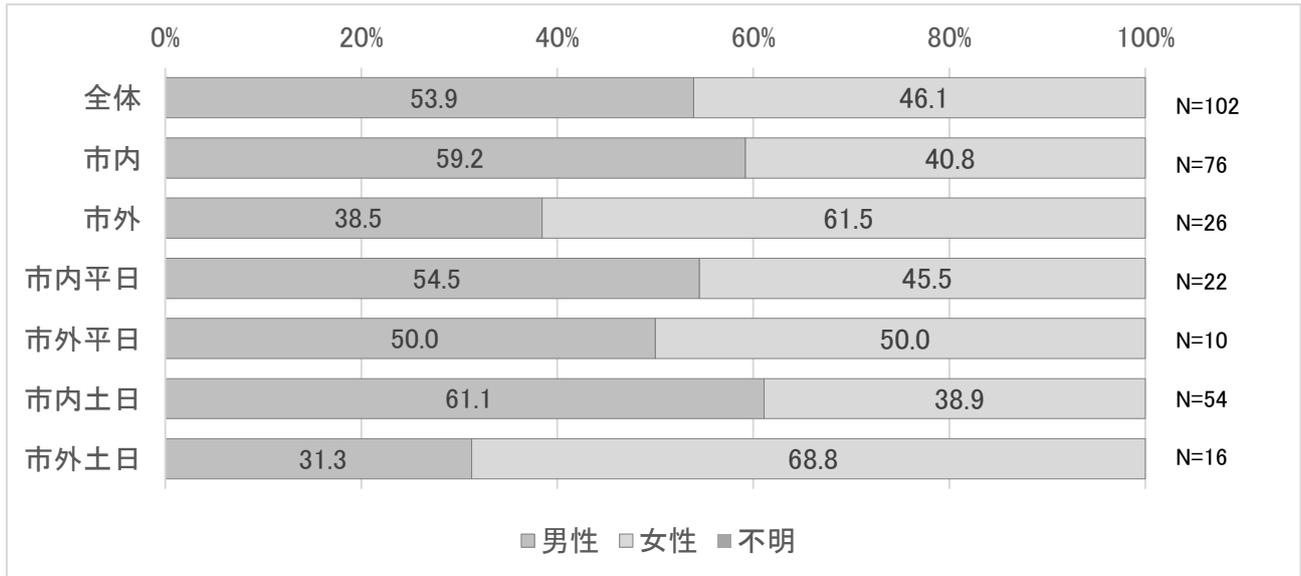


②島外利用者アンケート調査

問1：性別と年代、お住まいをお聞きします。

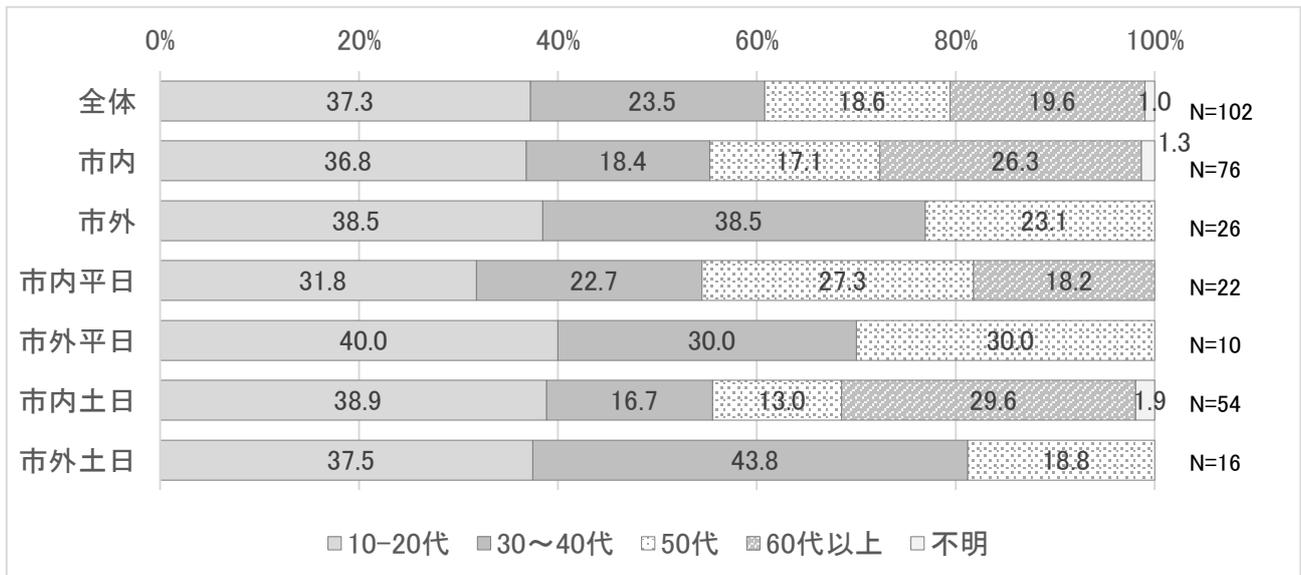
【性別】

性別は全体では男性が53.9%、女性が46.1%とほぼ均等であるが、市内外別でみると、市内は男性、市外は女性の割合が高い傾向がみられる。



【年代】

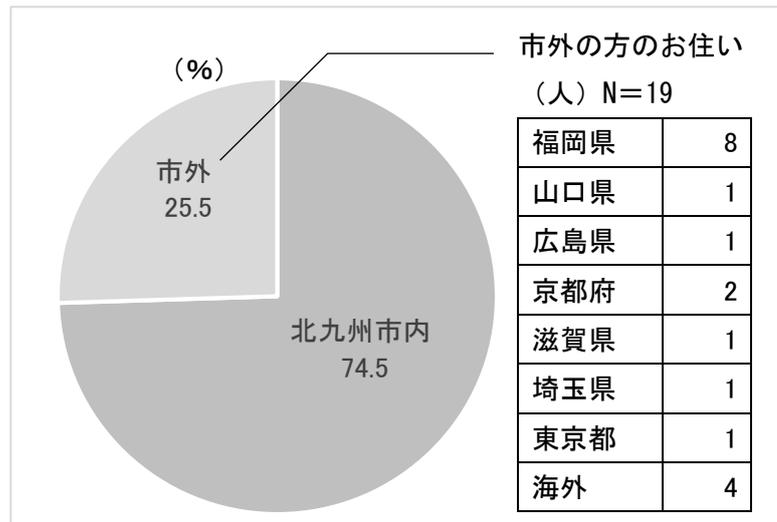
年代は10～20代が最も多く、40代以下で全体の半数以上となる。特に市外の利用者の80%は40代以下となっている。



【住まい】

回答者の住まいは、北九州市内が74.5%、市外が25.5%となっている。

市外の方の住まいは福岡県内が8名で最も多く、海外が4人で続いている。



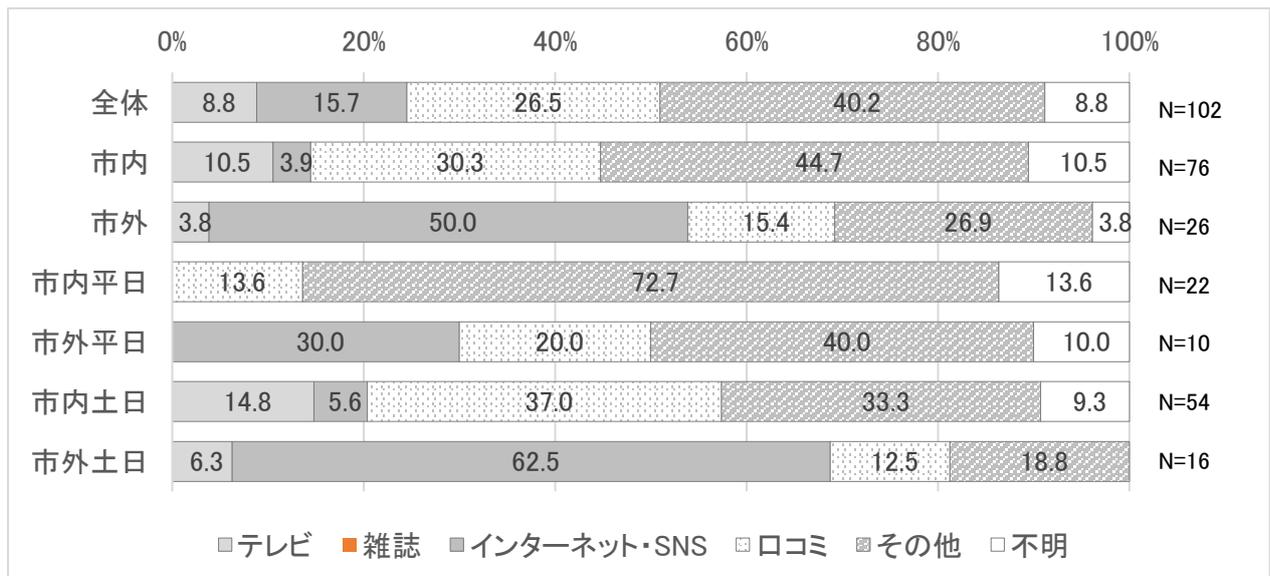
問2：今日の目的地はどちらですか。(1つに○)

目的地は全体の9割が「藍島」となっており、「馬島」を目的地とする人は少なくなっている。一方、市外の土日利用者の約2割は「藍島・馬島両方」を訪れる結果となっている。



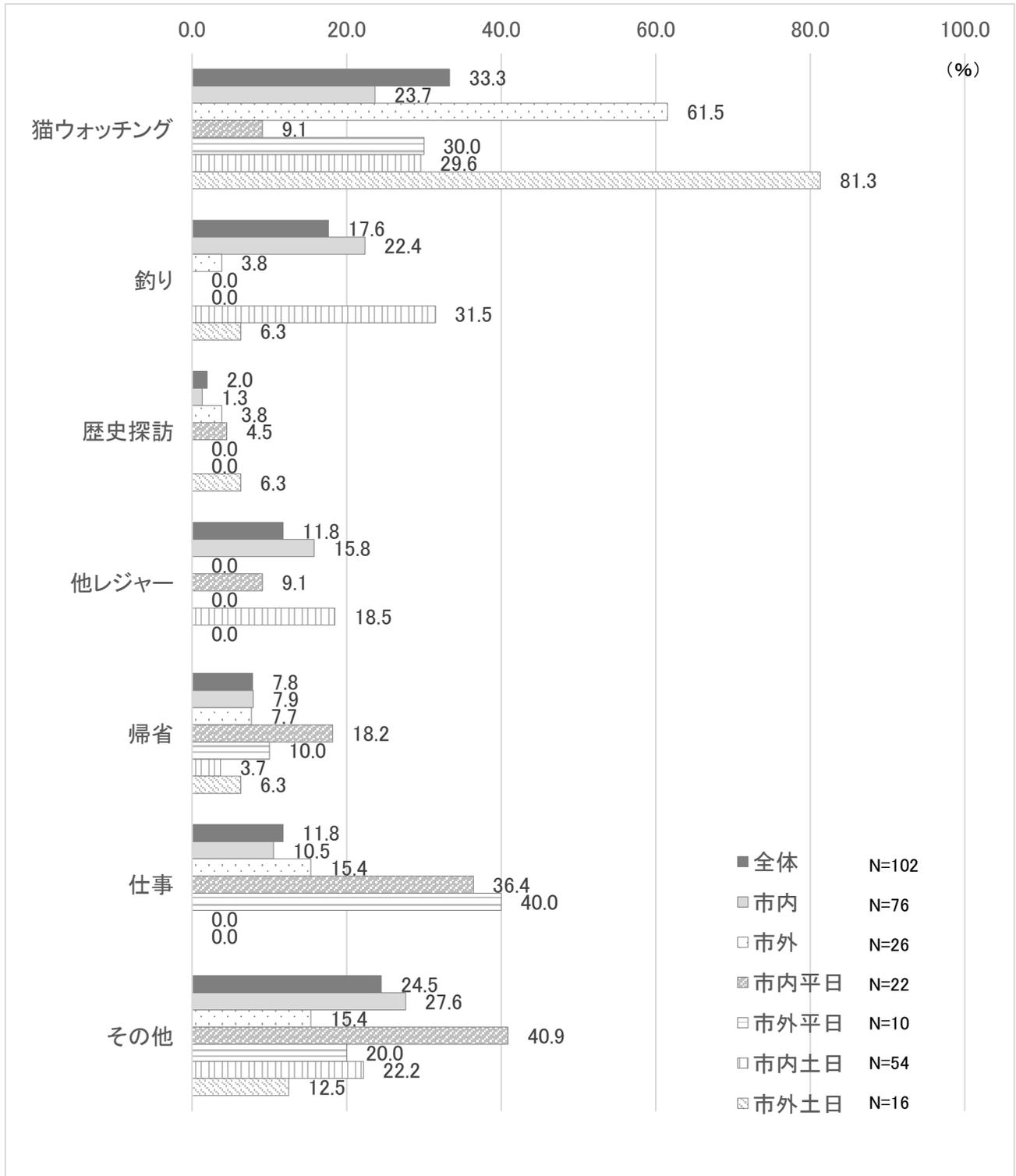
問3：本日の来訪のきっかけとなった情報の入手先は？(1つに○)

来島のきっかけとなった情報源は、全体では「その他」が最も多いが、土日来訪する人は「インターネット・SNS」や「ロコミ」の割合が高い。



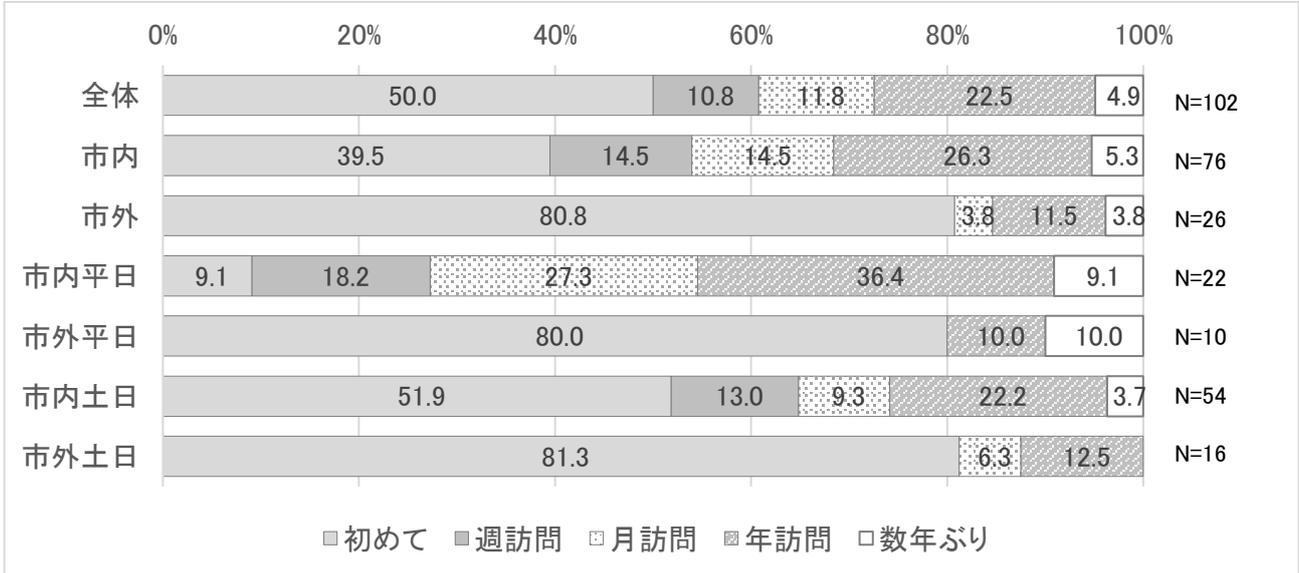
問4:本日の主な目的は何ですか？(2つまで○)

主な来島目的は、市外土日の81.3%が「猫ウォッチング」と特に多い。一方、市内平日は「仕事」が最も多く、市内土日は「釣り」が最多となっている。



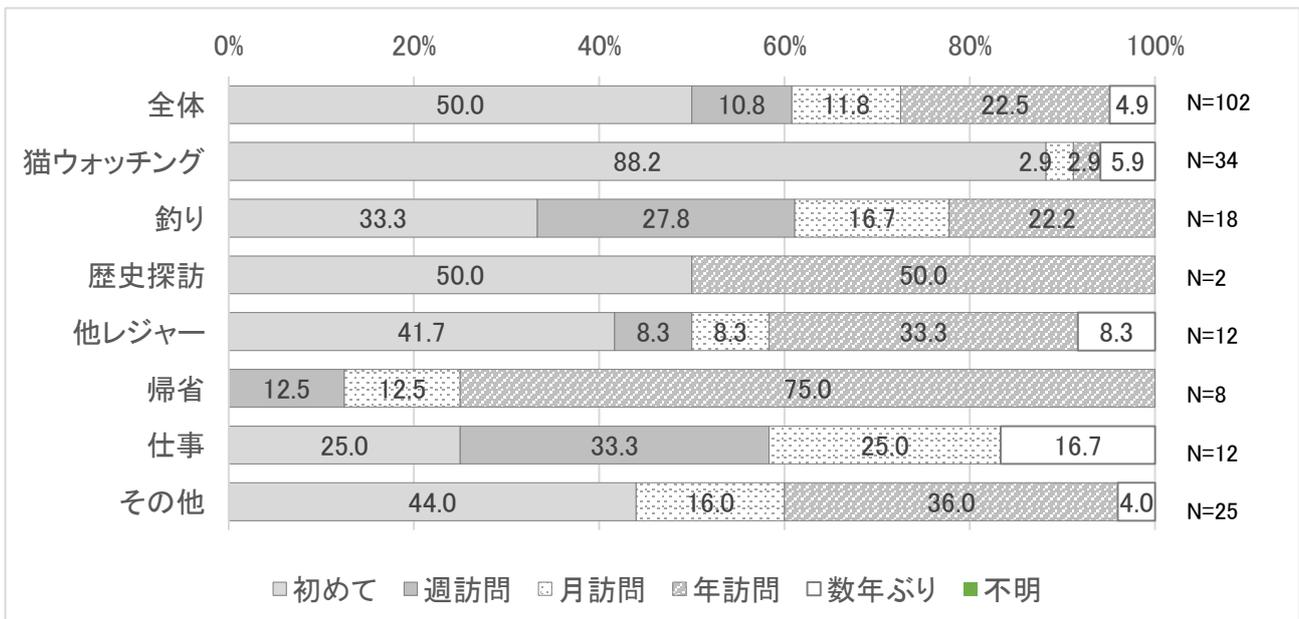
問5：当航路は、どの程度の頻度で利用されますか？（1つに○）

利用頻度をみると、市外は「初めて」が8割と特に多い傾向がみられる。一方、市内は「初めて」は4割程度となり、年数回訪問などのリピーターが多い結果となっている。



（目的別来訪頻度）

目的別でみると「猫ウォッチング」の9割は「初めて」の方となっている。一方、釣りはリピーターが多い傾向がみられる。

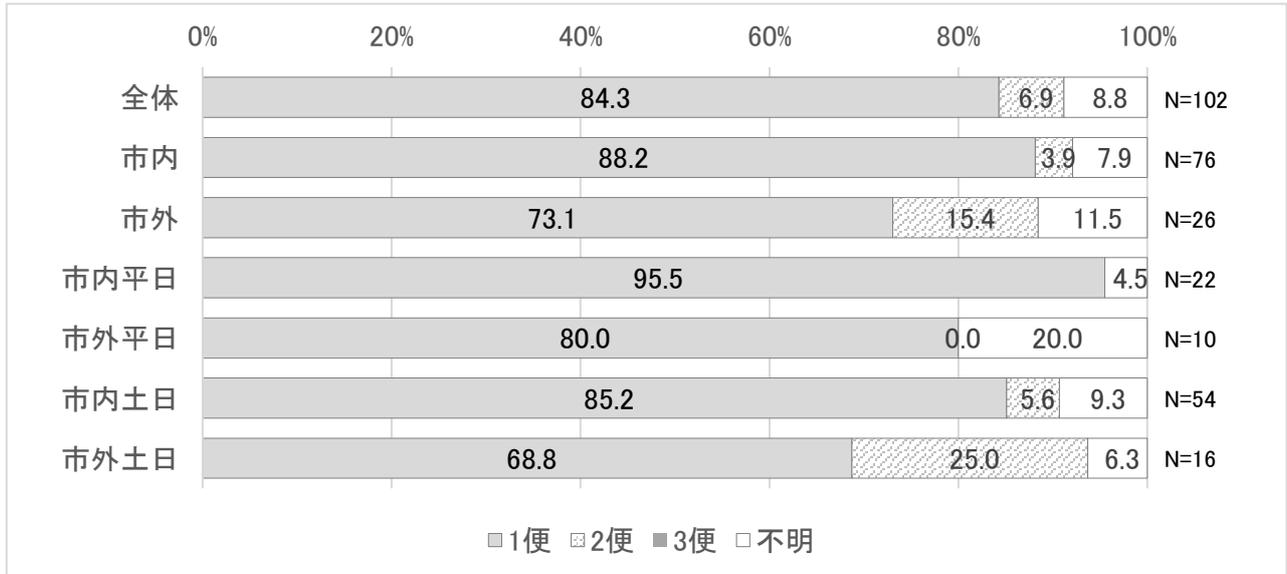


問6：本日のご利用のダイヤを教えてください。(それぞれ1つに○)

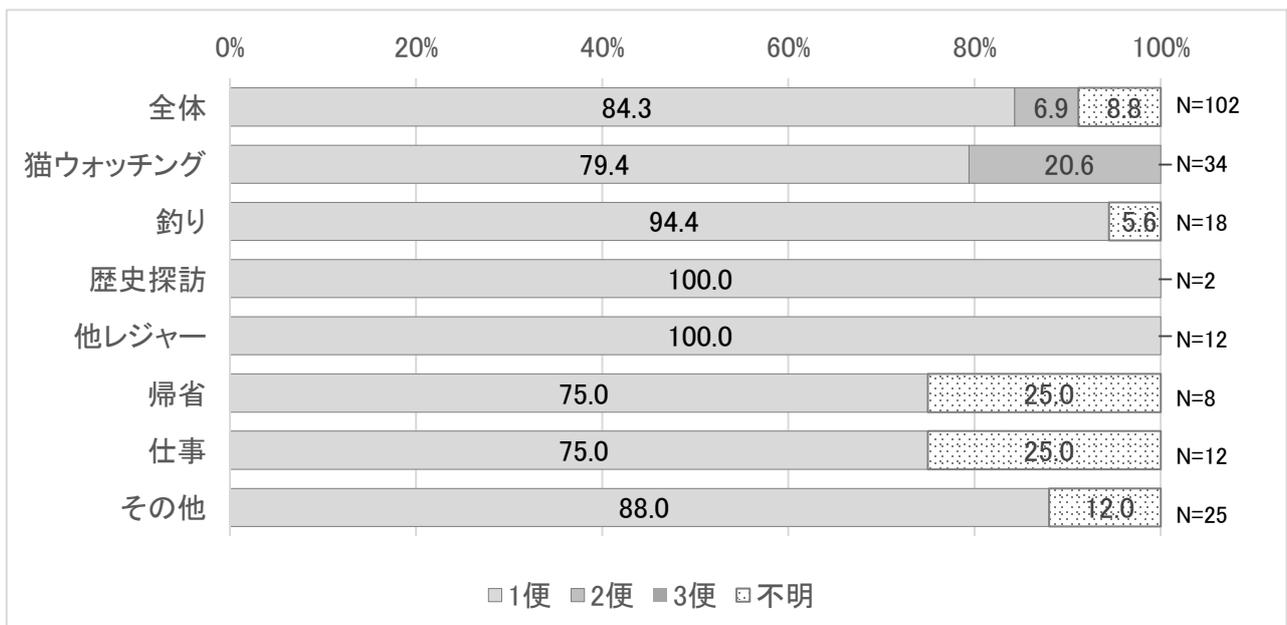
利用する便は、小倉発は全体では1便が84.3%で最も多くなっているが、市外土日では2便目も25%存在している。目的別でみると2便目の利用は「猫ウォッチング」の方であると推測される。島発では2便目、3便目が半々程度に分かれ、3便を利用する人は見られない。

<小倉発>

(属性別)

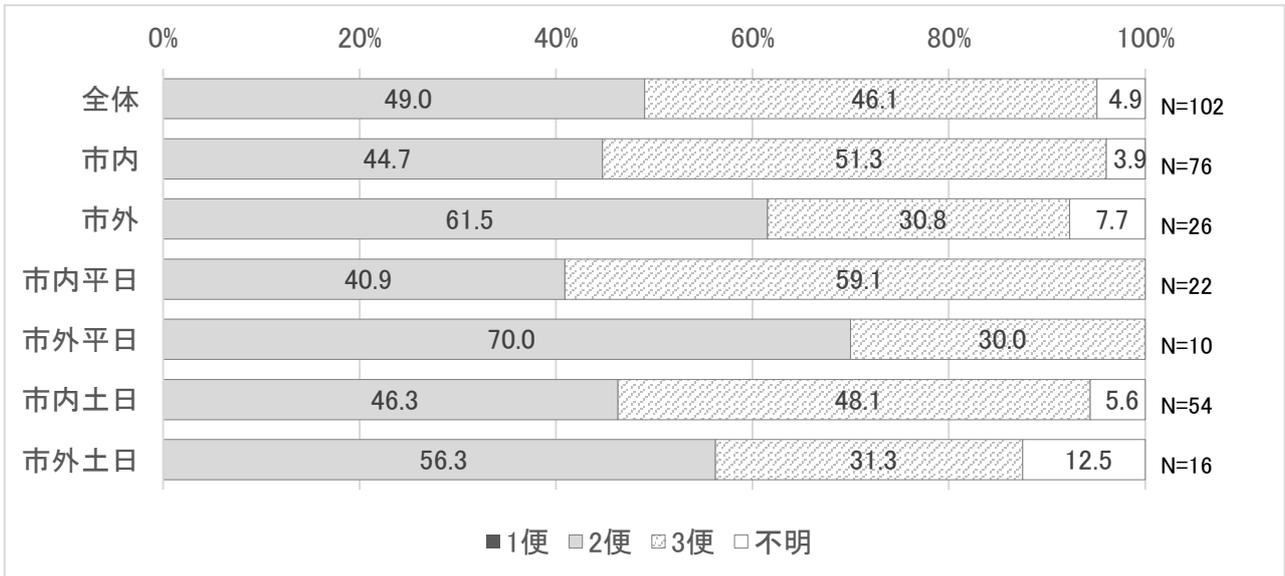


(目的別)

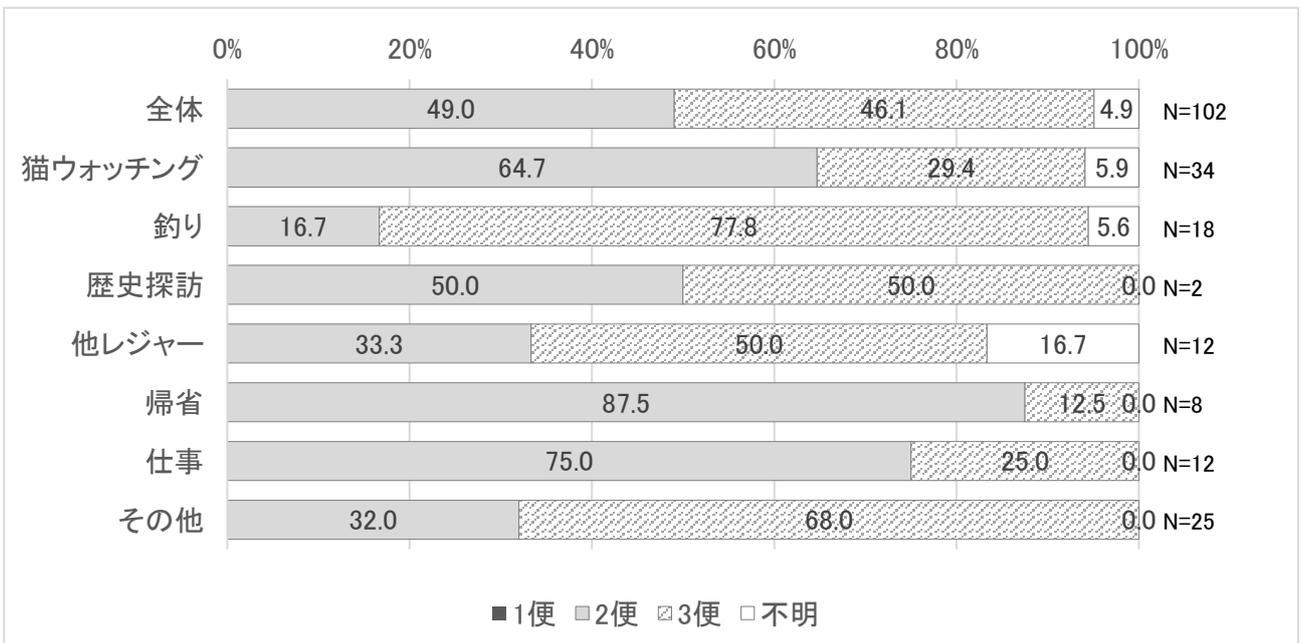


<島発>

(属性別)



(目的別)

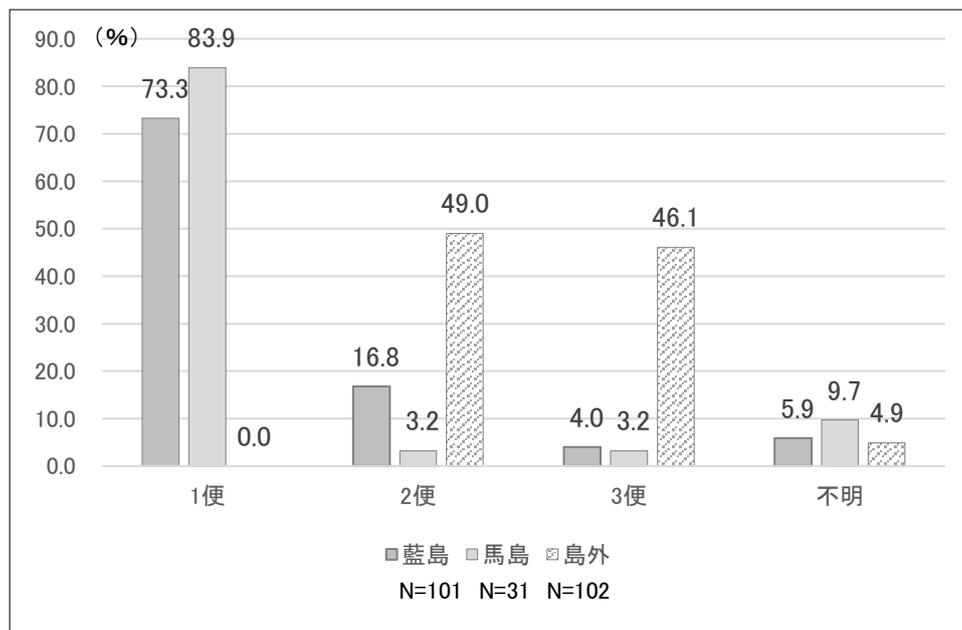


参考:(島民・島外利用者別) ※島民アンケート調査結果を活用した利用状況分析

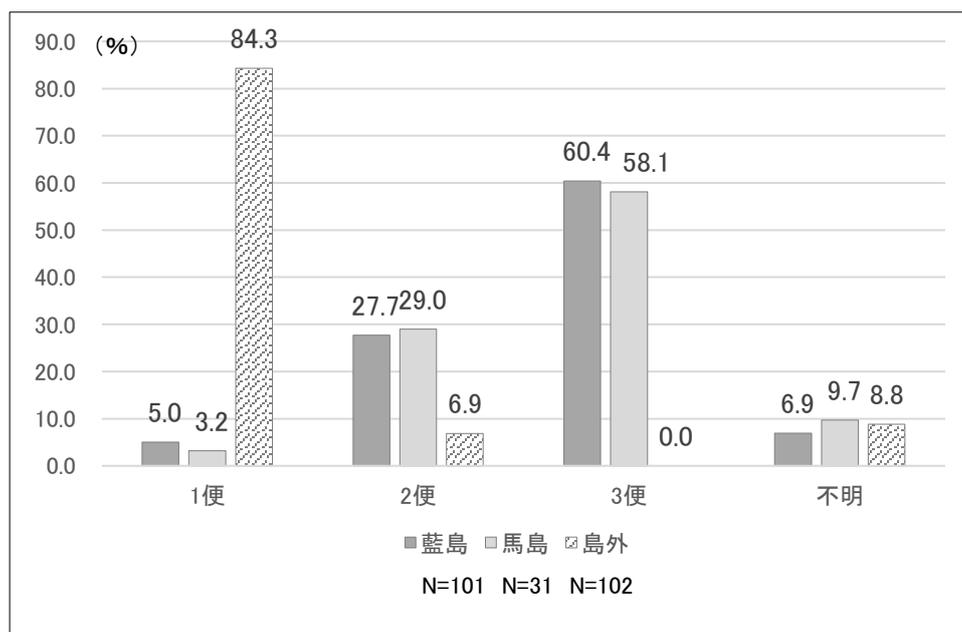
島民・島外利用者のそれぞれのアンケート結果を利用便をみると、島発では1便目はほぼ全てが島民利用の方であり、2便目、3便目は島外利用者の方が占める結果となった。

一方、小倉発では1便目は島外利用者、2便目、3便目は島民の利用が大部分を占めており、島発とは反対の傾向がみられた。

(島発)



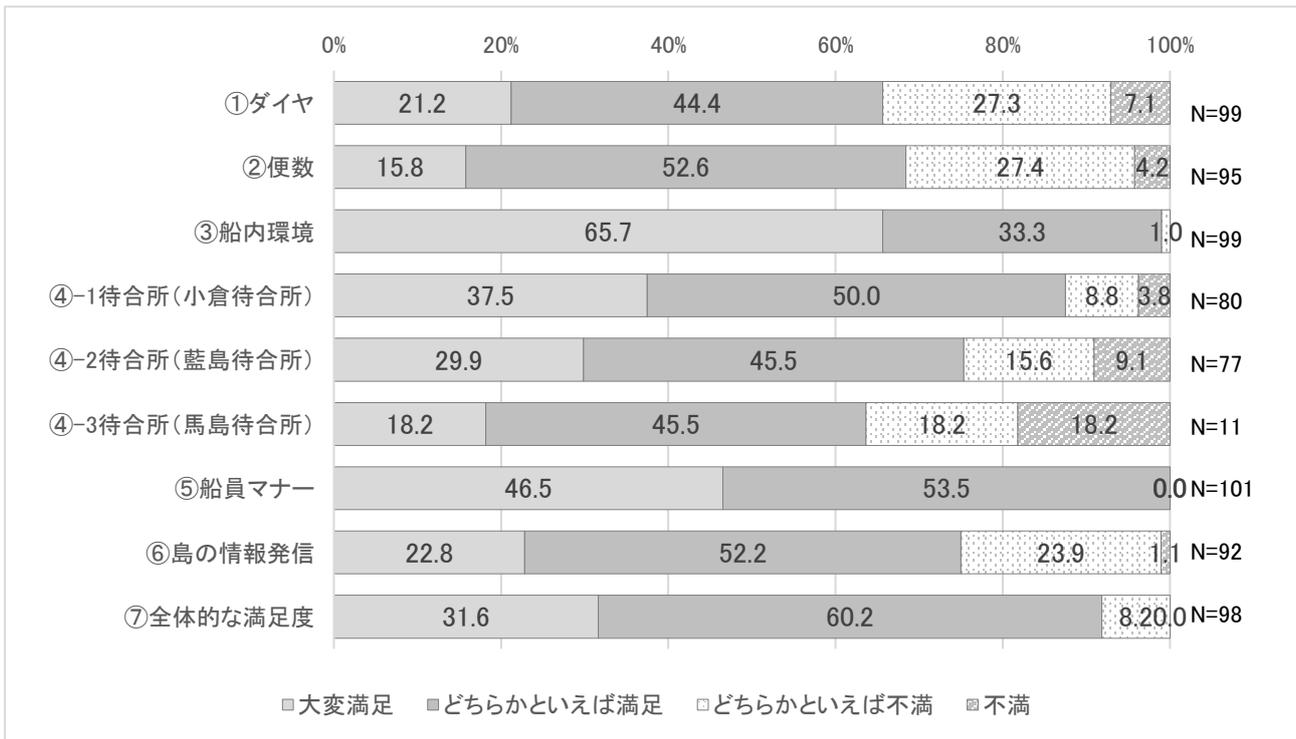
(小倉発)



問7：小倉航路の満足度を各項目についてお尋ねします。(それぞれ1つに○)

小倉航路の満足度を分野別で尋ねたところ、「⑦全体的な満足度」は“大変満足”、“どちらかといえば満足”を合計すると91.8%と高い満足度であることがわかる。指数で見ると、「③船内環境」の満足度が最も高く、次いで「⑤船員マナー」、「④-1小倉待合所」の順となっている。

一方で、評価が低いのは「①ダイヤ」、「②便数」、「④-2 藍島待合所」、「⑥島の情報発信」などであり、「①ダイヤ」、「②便数」は市外利用者に比べ市内利用者の評価が低い特徴がある。反対に「⑥情報発信」は市外利用者の評価が低い状況にある。「④-2 藍島待合所」は市内・市外両方の評価が低い結果となっている。

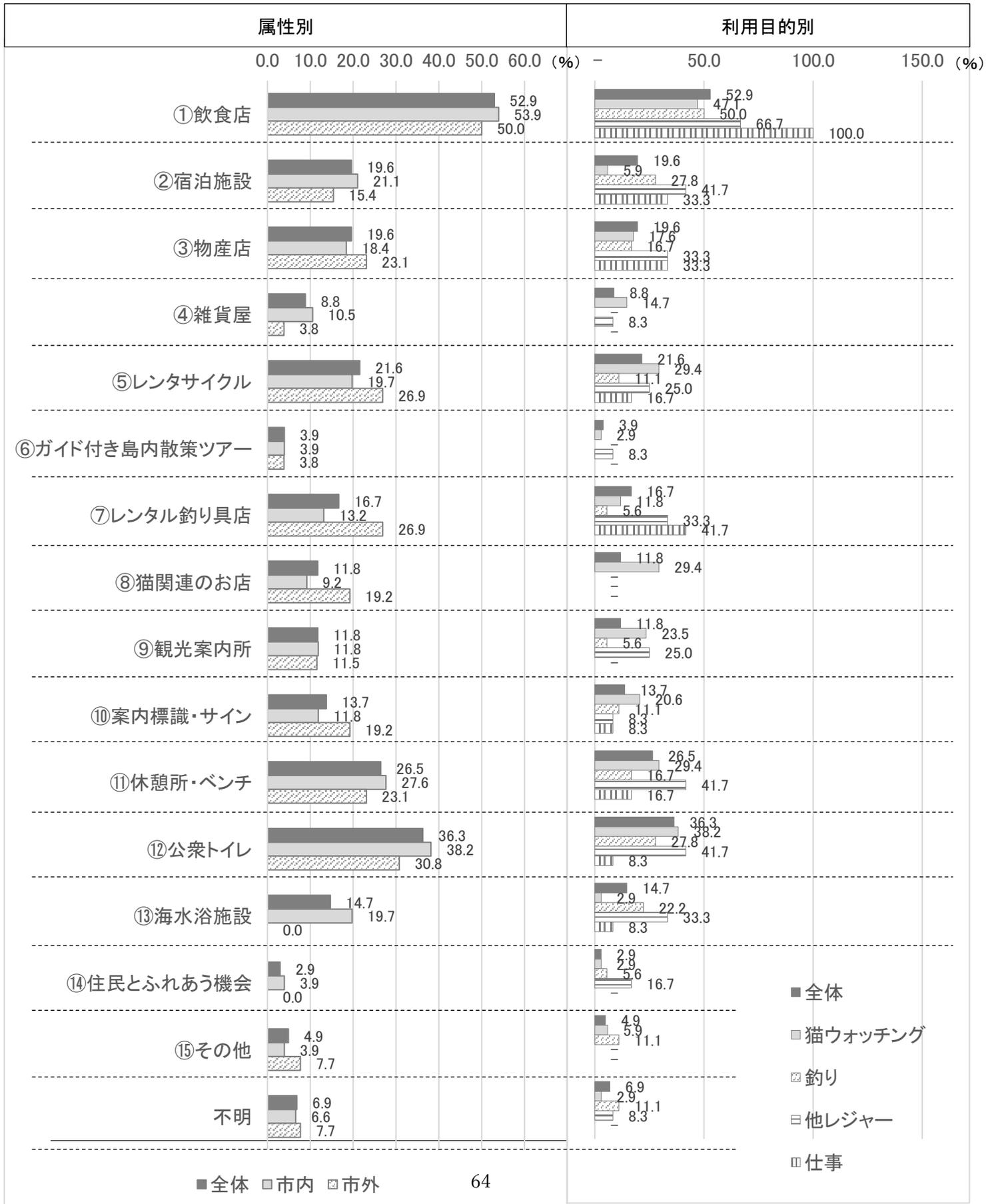


《自由意見》 ※不満の理由

<p>①ダイヤ</p>	<p><朝の便> ・ 早朝の便が欲しい。 ・小倉発の朝の便を早めて欲しい。 <夕方の便> ・ もっと遅い最終便が欲しい。 <その他> ・ 便が少ない。 ・昼頃帰る便(中間時間の便)を増やして欲しい。 ・ 12時くらいに1本欲しい。 ・時刻が少しわかりにくい。</p>
<p>②便数</p>	<p>・ 便数を増やして欲しい。 ・4便は必要。 ・ 夏は待ち時間が暑い。 ・昼ごろ帰る便が欲しい。</p>
<p>③船内環境</p>	<p>・ スラスタの音がうるさい。 ・ 船は新しくてよい。</p>
<p>④待合所</p>	<p><暑さ> ・ エアコンや扇風機が欲しい(藍島待合所)。 <清潔さ> ・ 汚いのできれいにしたい(藍島待合所)。 ・ 赤ちゃんのオムツ交換ができない(小倉待合所)。</p>
<p>⑥島の情報発信</p>	<p><島外への発信> ・ 知る手段がない。もっと情報発信すべき。 ・ 県内の方々も島を知らない人が多数いる。 <島内での発信> ・ 看板が少ない。 ・ 情報が何もなさすぎ。 ・ 釣れる魚が知りたい。</p>

問8：島に欲しいもの、あったらいいなと思うものをお答えください（いくつでも）

島に必要なものを尋ねたところ、「①飲食店」が最も多く、特に仕事で来訪する人の支持が高い。次いで「⑫公衆トイレ」、「⑪休憩所・ベンチ」の割合が高くなっているが、これらはいずれも猫ウォッチングなど観光目的客の支持が高い結果となっている。



第5章 重点課題の設定

本航路を島民の日常生活を支える生活航路として、また、観光やレジャー、ビジネスでの利用など島の活性化を支え続ける航路として持続可能なものとしていくためには、中長期的視点に立ち、経常経費削減に向けた業務改善や利用者増加策の展開、運賃改定などに総合的に取り組む必要がある。また、利用者にとって便利で快適な航路となるよう、平日・土日祝の統一ダイヤの導入や各便の時間調整などのダイヤ改善や、待合所の環境整備、従業員の接客マナー改善などに取り組む必要がある。以上を踏まえ、重点課題を次のとおり設定する。

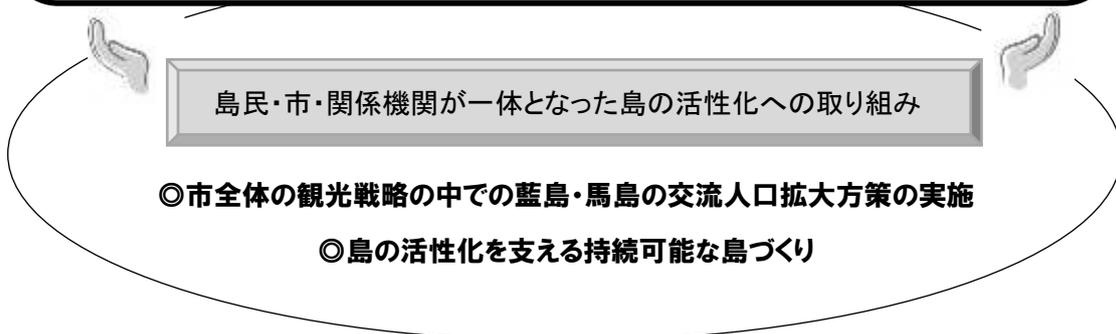
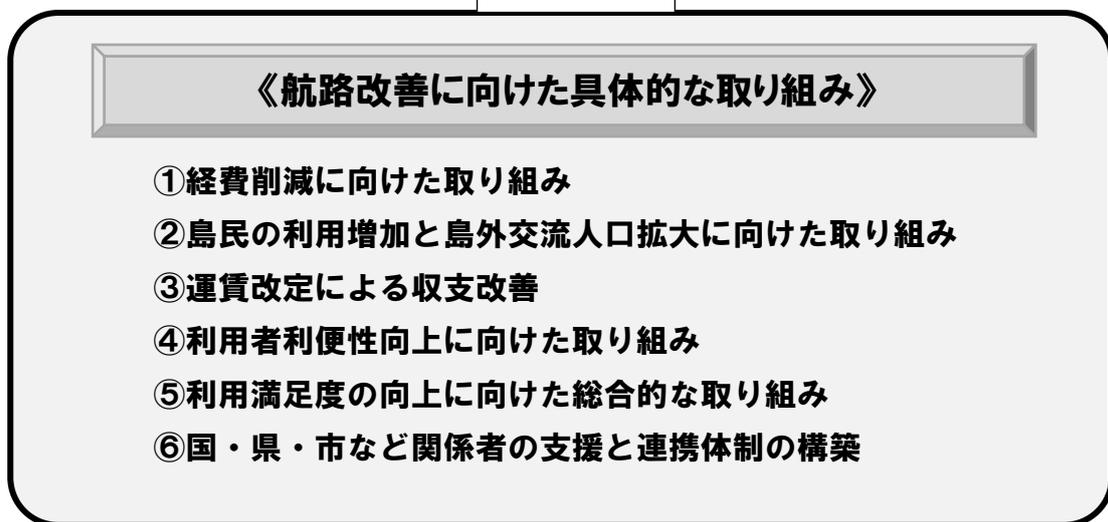
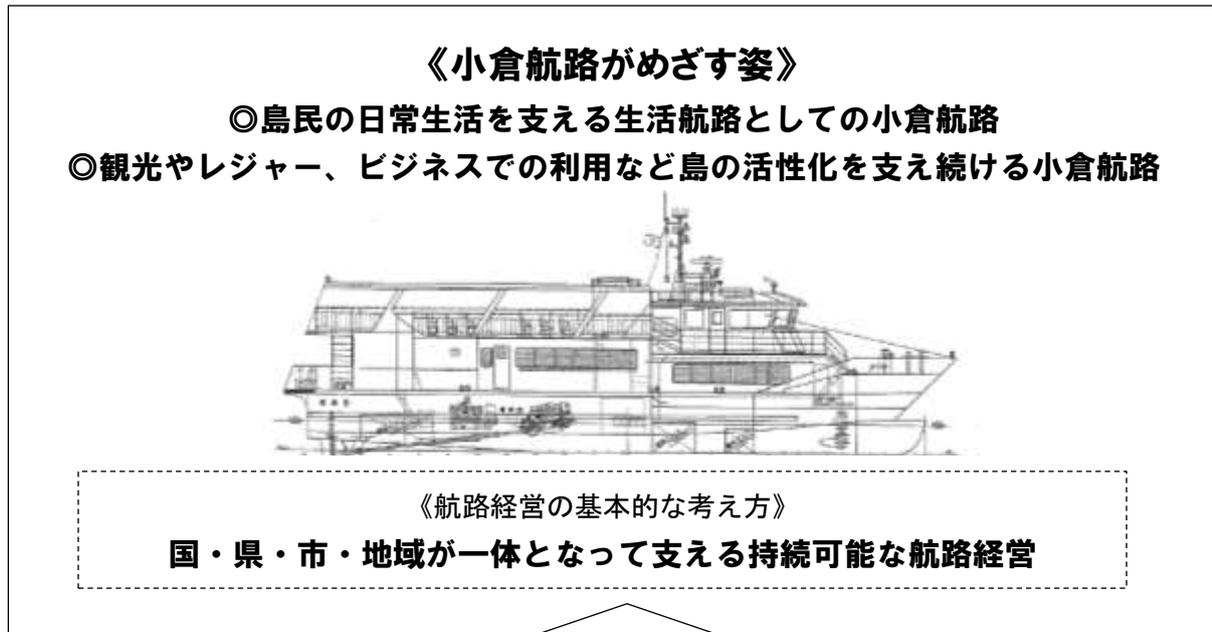
《重点課題》

- ①経費削減に向けた取り組み
- ②島民の利用増加と島外交流人口拡大に向けた取り組み
- ③運賃改定による収支改善
- ④利用者利便性向上に向けた取り組み
- ⑤利用満足度の向上に向けた総合的な取り組み
- ⑥国・県・市など関係者の支援と連携体制の構築

第6章 航路改善計画

(1) 航路改善方策の基本的な考え方

本航路は、島民の日常生活を支える生活航路としての役割を担うことを基本に、観光やレジャー、ビジネスでの利用など、島の活性化を支え続ける航路として維持・活性化を図る。



(2) 航路改善のための具体的取り組み

① 経費削減に向けた取り組み

本航路は、近年の島外利用者の増加による増収と経常経費の削減効果により収支は改善傾向にあるものの、毎年1.3億円超の赤字が続いている。また、経営診断で明らかになったとおり、今後は人口減少による減収に加え、新船導入による減価償却費などの経費増加により、収支は現在に比べ悪化することが予想される。

こうした状況を踏まえ、今後はこれまで以上の経営意識を持ち経常経費削減に向けた業務改善に努めるものとする。

《具体的な取り組み》

- ・ 経済運航や停泊時のアイドリングストップによる燃料使用量抑制
- ・ 修繕業務などの見直し及び職員対応等による経費削減
- ・ その他実施可能な経費削減の取り組み

② 島民の利用増加と島外交流人口拡大に向けた取り組み

平成28年度の平均乗船率は22%と低く、この乗船率の低さが赤字経営の要因の一つであると考えられる。乗船率が低い要因は様々であるが、例えば、島民の利用頻度は県内類似航路と比べても低い。また、増加傾向にある島外利用者についても特に土日祝日に多い“猫ウォッチング客”の9割が初来訪であり、リピーターになり得ていない。

今後は、乗船率向上による収入増加を図るため、島民の利用率向上とともに、島外利用者のリピーター化及び新規開拓に向けた取り組みを強化する。

《具体的な取り組み》

- ・ 利用者増加のための券種の導入検討
- ・ リピーター客増加や新規顧客開拓を目的とした島外利用者向け商品開発
- ・ 観光利用者増加のための他交通機関・宿泊施設等との連携商品等の開発
- ・ 情報発信の強化
- ・ その他利用拡大・収入拡大方策の検討

③運賃改定による収支改善

本航路の運賃水準（キロ当たり運賃）は近隣他航路の4割程度の水準と低い。本航路の運賃は物価上昇が進む中、約20年改定していないことに加え、新船導入後も見直しを行っておらず、これが収支を悪化させる一つの要因となっている。今後の人口減など更に厳しい経営環境を踏まえると、運賃改定による収支改善は不可欠と考える。なお、島民については、生活航路であることから島民割引制度の拡充等により島民負担の軽減を図る必要がある。

《具体的な取り組み》

- ・ 運賃改定
- ・ 島民や年長者に対する割引制度の検討

④利用者利便性向上に向けた取り組み

本航路は、1日3便（通常時）の限られたダイヤで構成されており、これまでも島民要望等を踏まえ適宜見直しを行っているが、今回実施したアンケート調査では、島民の6割はダイヤについて何らかの問題意識を持っていることが明らかとなった。

今後は、アンケート調査で要望が多かった平日土日祝日の統一ダイヤの導入のほか、現状の運航体制の中で、費用が増加しない条件で利用者の声を聞きながら、実施可能なダイヤ調整を検討する。また、現在は多客期の対応として夏季ダイヤ（7月20日から8月10日）が設定されているが、今後は需要動向や費用対効果を見極めながら、夏季以外の多客期の対応を検討する。

《具体的な取り組み》

- ・ 平日土日祝日の統一ダイヤの導入検討
- ・ 利用者ニーズに配慮した利便性の高いダイヤの見直し
- ・ 多客期対応の強化

⑤利用満足度の向上に向けた総合的な取り組み

島民・島外利用者双方の利用率を高めるためには、本航路が快適に利用できる環境づくりを進めることは基本といえる。こうした中、本航路には平成29年5月から新船が導入され、船内環境は大幅に向上した。アンケート調査でも島民・島外利用者とも船内環境に対する満足度は高い。一方で待合所については、島側だけでなく小倉待合所も含めて、清掃の徹底や利用マナーの改善を求める意見が多く見られた。

今後は要望が多い待合所の清掃・管理体制の強化をはじめ、外国人観光客向けのトイレ利用マナーの発信など、待合所の環境整備等の充実を図る。また、ホスピタリティのある航路運営をめざし、船員の接遇マナーを向上する。さらに、現在では未対応の障害者運賃の導入など、誰もが利用しやすい環境づくりを進める。

《具体的な取り組み》

- ・ 待合所の環境整備等（清掃・管理体制強化、利用マナー情報発信など）
- ・ 関係職員の接遇マナーの改善
- ・ 障害者運賃の適正化
- ・ 利便性向上のための船内の軽微な改善

⑥国・県・市など関係者の支援と連携体制の構築

本航路は、藍島・馬島住民の生活安定と向上及び産業振興・観光振興にとって必要不可欠な航路であり、将来にわたり航路の維持・継続が必要である。

しかしながら、年々利用者が減少するなか、将来的にも航路収入だけでは航路を維持することは困難な状況であることから、国及び県からの財政的な支援を受けるため、国庫補助対象航路への認定申請に向けて準備を進める。

また、関係機関との連携を図り、これまで以上に航路の活性化に取り組んで行くものとする。

《具体的な取り組み》

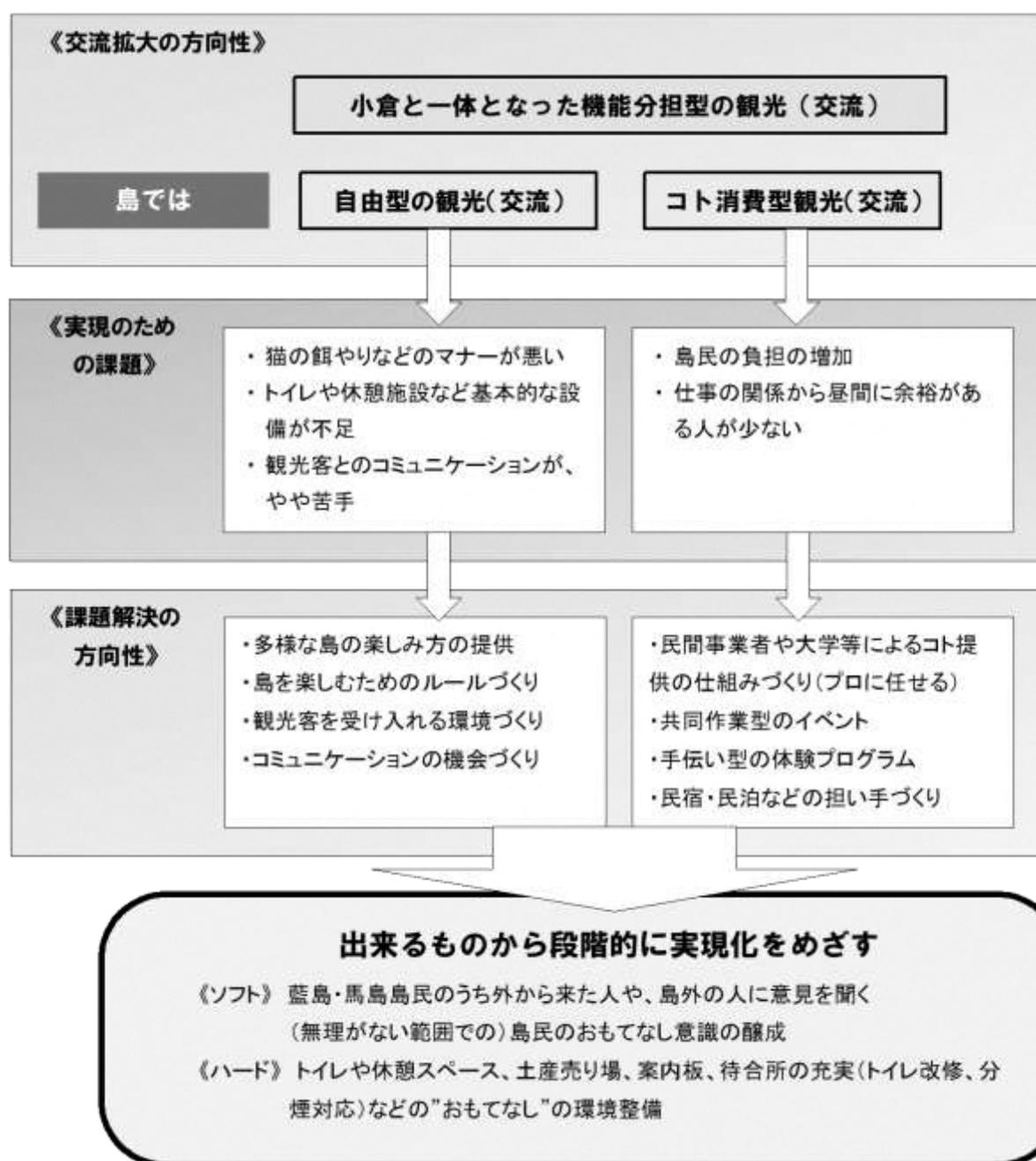
- ・ 国庫補助対象航路への認定に向けた取り組み
- ・ 国・県・市・地域・関係機関の連携体制強化
(継続的な連絡調整体制の構築)

(3) 島民・市・関係機関が一体となった島の活性化への取り組み

島外利用者の増加を図るためには、前述したような航路の利便性や満足度を高めるための取り組みを行うことも重要であるが、来訪したくなるような“島本来の魅力”を高め、その魅力を発信し、島民全体で来訪者を受入れ、経済が循環するような総合的な取り組みを、市全体の観光戦略として進めていくことが重要である。

今後は、観光関連機関や民間事業者等と連携し、あり方会議での意見を踏まえた観光戦略を策定し、ハード・ソフト両面の取り組みを一体的に推進する。

(島外利用者増加に向けた方向性) ※第1回あり方会議意見より



①市全体の観光戦略の中での藍島・馬島の交流人口拡大方策の実施

- ・ 市全体の観光戦略と一体となった島の観光戦略の策定
(ブランドコンセプト、ターゲット、プロモーション、商品づくりの検討)

《具体的な取り組み》

- ・ 資源掘り起こし・市場ニーズの把握
- ・ コンテンツ形成 (フリープラン、着地型商品、体験イベント等)
- ・ プロモーション・情報発信 (WEB・SNS・マップ・メディア活用・地元小学校連携)
- ・ 受入基盤・体制づくり (飲食店・宿泊等の受入施設、公共施設活用 (トイレ等)、誘導サイン、受入体制等)

②島の活性化を支える持続可能な島づくり

《具体的な取り組み》

- ・ 物産振興 (ブランディング、新商品開発、販路拡大等)
- ・ 洋上風力発電事業と連携した活性化事業の実施
- ・ その他

(空白)

参考資料
アンケート調査票

小倉航路に関するアンケート調査ご協力のお願い

小倉航路は、島民の皆さんの日常生活に欠かせない移動手段として親しまれていますが、島民人口の減少等により厳しい経営が続いています。

こうした状況の中、将来の赤字拡大を回避し、小倉航路の安定的な運航の維持・活性化を図るために、本年度、藍島・馬島の住民代表・九州運輸局・福岡県・学識経験者・北九州市等からなる「小倉航路のあり方会議」を立ち上げ、航路の改善計画を策定することになりました。

このアンケート調査は、持続可能な航路運営を行うための基礎資料とするために、島民の皆さんに小倉航路のご利用状況や改善に対するご意見などをお伺いするものです。

ご多忙中お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解頂き、何卒、ご協力くださいようお願い申し上げます。

平成29年7月

北九州市 渡船事業所

【記入上の注意】

- この調査は、藍島・馬島にお住まいの全世帯を対象としています。
- 封筒には調査票が3通入っています。15歳以上の方で、航路の利用の有無に関わらず、可能な限り多くの皆さんのご協力をお願いします。調査票が不足する場合は、大変申し訳ありませんが、下記事務局までご連絡ください。
- ご記入いただきました調査票は、平成29年8月9日(水)に調査員が回収に参ります。調査票を封筒に入れて調査員にお渡しください。ご不在の場合は、玄関口など解りやすい場所に置いてください。
- ご記入いただきましたご意見、ご回答は全て統計処理を行い、集計後は適正な管理・運営を行いますので、個人としての意見が外部に出るようなことは決してございません。ご協力をよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

北九州市 渡船事業所 担当 岩崎、川平
TEL 093-861-0961 FAX 093-861-0962

小倉航路に関するアンケート調査票

あなたの性別、年齢などをお尋ねします。

問1 あなたの性別をお答えください（1つに○）

- ①男性 ②女性

問2 あなたの年齢をお答えください（1つに○）

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代
⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

問3 あなたのご職業又は現在の状態をお答えください（主なもの1つに○）

- ①会社員 ②漁業 ③農業 ④公務員・団体職員
⑤派遣・パート・アルバイト
⑥学生 ⑦主婦・主夫 ⑧無職 ⑨その他（.....）

小倉航路の利用についてお尋ねします。

**問4 この1年間、小倉航路を利用して本土へはどの程度行かれましたか。
（1つに○）**

- ①ほぼ毎日 ②週に2～3日程度 ③週に1日程度 ④月に数回程度
⑤年に数回程度 ⑥1回も利用していない

問5 主に利用される便はどの便ですか。

【利用される曜日】（1つに○）

- ①月曜日 ②火曜日 ③水曜日 ④木曜日 ⑤金曜日 ⑥土曜日 ⑦日曜日
⑧平日（月～金）

【主に利用する便（島発）（1つのみ）】 ①1便目 ②2便目 ③3便目

【主に利用する便（小倉発）（1つのみ）】 ①1便目 ②2便目 ③3便目

問6 小倉航路の利用目的として特に多いものをお尋ねします。(1つに○)

- ① 通勤 ②通学 ③通院 ④業務 ⑤買物 ⑥食事・娯楽・レジャー
⑦公共施設（市役所など） ⑧金融機関や郵便局
⑨その他（.....）

特によく行く場所をお書きください（例）〇〇病院など

問7 小倉到着後、目的地までの主な移動手段をお尋ねします。(1つに○)

- ① 徒歩 ②路線バス ③タクシー ④JR（在来線） ⑤JR 新幹線 ⑥モノレール
⑦バイク・自転車 ⑧自動車 ⑨送迎（家族などの出迎え）
⑩その他（.....）

問8 小倉航路以外、「漁船等」で本土に行くことはありますか。(1つに○)

- ①ある ②ない



「ある」に○をつけた方にお聞きします。その頻度や目的は？（1つに○）

《頻度》 1つに○

- ①年数回程度 ②月1回程度 ③月数回程度 ④週数回程度 ⑤ほぼ毎日

《理由》 1つに○

- ① 時間的に定期船を待てないから
② 定期船の利用より経費が安いから
③ 所要時間が短いから
④ その他（.....）

問9 現在の小倉航路の①～⑩それぞれについて満足度や不満の理由などをお尋ねします。

①～⑩の各項目について、それぞれに1つずつ○をつけてください。		大変満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	「どちらかといえば不満」、「不満」とお答えの方はその理由をお書きください。
(記入例) ①ダイヤ		1	2	③	4	5	〇〇行きバスへの乗り継ぎ時間が長い
①ダイヤ		1	2	3	4	5	
②便数		1	2	3	4	5	
③乗継の利便性		1	2	3	4	5	
④運賃		1	2	3	4	5	
⑤船内環境		1	2	3	4	5	
⑥待合所の環境 (馬島待合所)		1	2	3	4	5	
⑦待合所の環境 (小倉待合所)		1	2	3	4	5	
⑧船員マナー		1	2	3	4	5	
⑨全体的な満足度		1	2	3	4	5	

問10 現在、島には猫の見学や釣りなどで多くの観光客が訪れています。今後、観光による島の活性化を進めるにあたり、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれ1つに○）

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば 思わない	思わない
（記入例）島に活気が生まれ、良いことだ	1	2	3	4
島に活気が生まれ、良いことだ 	1	2	3	4
観光客が多くなり、島にお金が落ちるようになる 	1	2	3	4
自分自身も観光客に話しかけたり、おもてなしをしたい 	1	2	3	4
機会があれば、自分も島の散策ガイドなどやってみたい 	1	2	3	4
機会があれば、自分も土産物や飲食、宿泊などのビジネスにチャレンジしてみたい 	1	2	3	4
島の活性化を考える場や機会が必要だ 	1	2	3	4

<自由意見> 航路へのご意見や島の活性化に関する事など、自由にお書きください。

小倉航路に関するアンケート調査ご協力をお願い (English on the reverse side)

問1: 今日の日付、性別と年代、お住まいをお聞きます。

- 乗船日 ()月 ()日 ■性別(どちらかに○): ①男性・②女性
 ■年代 ()歳代 ■住まい(①島内 ②北九州市内・③市外(※)都道府県)

問2: 今日の目的地はどちらですか。(1つに○)

- ①藍島 ②馬島 ③藍島・馬島両方

問3: 本日の来訪のきっかけとなった情報の入手先は?(1つに○)

- ①テレビ ②雑誌 ③インターネット・SNS ④口コミ ⑤その他()

問4: 本日の主な目的は何ですか?(2つまで○)

- ①猫ウォッチング ②釣り ③歴史探訪 ④他レジャー ⑤帰省 ⑥仕事 ⑦その他()

問5: 当航路は、どの程度の頻度で利用されますか?(1つに○)

- ①初めて ②週()回程度 ③月()回程度 ④年()回程度 ⑤数年ぶり

問6: 本日のご利用のダイヤを教えてください。(それぞれ1つに○) ※日曜日

- 【小倉発】 ①1便(09:00) ②2便(15:30) ③3便(17:30)
 【島発】 ①1便(藍島 7:00) ②2便(藍島 14:30) ③3便(藍島 16:30)
 (馬島 7:13) (馬島 14:43) (馬島 16:43)

問7: 小倉航路の満足度を各項目についてお尋ねします。(それぞれ1つに○)

	大変満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	「どちらかといえば不満」、「不満」とお答えの方はその理由をお書きください。
①ダイヤ	1	2	3	4	
②便数	1	2	3	4	
③船内環境	1	2	3	4	
④待合所 <small>(利用していない場合は次へ進んでください)</small>	小倉待合所	1	2	3	4
	藍島待合所	1	2	3	4
	馬島待合所	1	2	3	4
⑤船員マナー	1	2	3	4	
⑥島の情報発信	1	2	3	4	
⑦全体的な満足度	1	2	3	4	

問8: 島に欲しいもの、あったらいいなと思うものをお答えください(いくつでも)

- ①飲食店 ②宿泊施設 ③物産店 ④雑貨屋 ⑤レンタサイクル ⑥ガイド付き島内散策ツアー
 ⑦レンタル釣り具店 ⑧猫関連のお店 ⑨観光案内所 ⑩案内標識・サイン ⑪休憩所・ベンチ
 ⑫公衆トイレ ⑬海水浴施設 ⑭住民とふれあう機会 ⑮その他()

<自由意見> 航路へのご意見や島の活性化に関することなど、自由にお書きください。

Questionnaire about Ainoshima & Umashima route (日本語は裏面)

Q1: Date, Gender, Age, Country

■departure date : August ____th ■Gender : ①male ②female
 ■Age : () ■Country ()

Q2: Which is your today's destination (single choice)

①Ainoshima-island (A) ②Umashima-island (U) ③Both (A&U)

Q3: Where did you know the destination? (single choice)

①TV ②magazines ③web/SNS ④personal communication ⑤others ()

Q4: What is your purpose of visiting (choice up to 2)

①cat ②fishing ③history interest ④leisure ⑤homecoming ⑥job ⑦others ()

Q5: How often do you go onboard? (single choice)

① First time ②() times a week ③() times a month ④() times a year ⑤less than those

Q6: Which service are you onboard? (single choice for each)

[Dep. Kokura] ①First (09 : 00) ②Second (15 : 30) ③Third (17 : 30)
 [Dep. A or U Island] ①First (A 7:00 / U 7:13) ②Second (A 14:30 / U 14:43) ③Third (A 16:30 / U 16:43)

Q7: Degree of Satisfaction (single choice for each)

		Very Satisfied	Satisfied	Dissatisfied	Very Dissatisfied	Reason for "Dissatisfied" or "Very Dissatisfied"
①Diagram of ship		1	2	3	4	
②Number of ships per day		1	2	3	4	
③On-board environment		1	2	3	4	
④ Waiting Area <small>(if you did not use it, please skip this question)</small>	Kokura	1	2	3	4	
	Ainoshima	1	2	3	4	
	Umashima	1	2	3	4	
⑤Crewmembers manner		1	2	3	4	
⑥Information availability		1	2	3	4	
⑦Overall		1	2	3	4	

Q8: What would you like in the islands? (multiple choice)

①restaurant ②hotel ③souvenir ④retail shop ⑤rental bike ⑥guided tour
 ⑦rental fishing goods ⑧cat-related shop ⑨information center ⑩signboard ⑪sitting area
 ⑫toilet ⑬bathing facilities ⑭communication with local residents ⑮others()

<free description> Please feel free to describe your opinion about your trip to Ainoshima or Umashima.

**北九州市営渡船小倉航路のあり方会議
報告書**

平成30年3月

北九州市

北九州市 産業経済局 総務政策部 渡船事業所
〒804-0075 北九州市戸畑区北鳥旗町 11 番 1 号
TEL:093-861-0961 FAX:093-861-0962

北九州市印刷物登録番号第 1713102A 号